

可認局遞驛



治二十年二月五日發兌

第壹年級

英吉利法律講義錄

第二十一號

英吉利法律學



目次

○親族法

法學士

山田喜之助
山口正毅筆記

○組合法

法學士

松野貞一郎
畔上啓策筆記

○英國刑法

(第十九號
ノ續キ)

法學士

澁谷慥爾
畔上啓策筆記

○經濟學

(第十九號
ノ續キ)

法學士

駒井重格
山口正毅筆記

○契約法

(第十四號
ノ續キ)

法科大學
卒業生

土方寧
山口正毅筆記

女子ニ適當ナル營業ニ限り獨立營業ノ權ヲ附與セリ
米國ノ各州ニテ妻ニ獨立ノ營業ヲ許スコトニ付テハ多少ノ差異アリ
ト雖モ其夫ノ承諾ヲ要スルハ各州皆異ナルコト無シ之ヲ要スルニ近
代立法ノ主義ハ妻ニ別有財産ヲ與ヘ從テ之ニ處分權ヲ與ヘタルニ依
リ遂ニハ獨立營業ノ習慣ヲ馴致シタルモノナリ而シテ米國ニ於テモ
十分ニ確定シタリト云フヘカラス然レトモ今後ノ傾向ハ有夫ノ婦女
ハ可成獨立ナラシムルニ在ルヲ以テ其商業ノ權モ大ニ擴張セラルハ
ノ傾アルヘシ近代ニ於テ米國ノ諸州ノ中ニテ結婚婦條例ヲ發布シタ
リ其條例ニ依レハ有夫ノ婦女ト雖モ別有財産ヲ所有スルモノハ之ヲ
以テ營業ヲ行ヒ其所得ヲ自己ノ完全ノ所有トスルヲ得ルモノニシテ
從テ夫ノ債主ト雖モ之ニ對シテ執行ヲ遂タルヲ得サルモノトス而シ
テ夫ニ於テモ其妻ノ獨立ノ營業ニ關シテ干涉ノ權ナキモノトス然レ

トモ何レノ場合ニ於テモ若シ證據不十分ナルトキハ妻ノ營業ヲ以テ夫ノ營業ト見做シ妻ハ唯夫ノ助力ヲ爲シタルモノト法律ハ推測スルナリ

妻商業ヲ爲スヲ得ル場合ト雖モ夫ト共ニ組合商業ヲ爲スヲ得ス又夫ノ組合員タル組合ニ加入スルヲ得サルナリ

佛蘭西民法第二百二十條ニ於テ妻ニ獨立商業ノ權アルヲ知ラル即チ其法文ニ曰ク妻若シ公然ノ商業人ナルトキハ其夫ノ承諾ナクシテ其營業ニ關スル事柄ニ付キ自己ヲ束縛スルコトヲ得ヘシ而シテ以上ノ場合ニ於テ夫妻間共通財産制度ナルトキハ夫モ亦其責任ヲ負フヘシ

又巴黎ノ習慣ニテハ恰モロンドン府ノ習慣ニ於ケルト同様ニ妻ニ獨立商業ノ權ヲ附與セリ而シテ西班牙及其他歐洲大陸諸國ニ於テハ其制

度凡テ佛國ト大同小異ナリトス
第十四編 結婚婦ノ遺囑證書ヲ論ス

英ノ習慣法ニ依レハ結婚婦ハ遺囑證書ヲ造クルコトヲ得ス此ノ不能力ノ原由ハ第一結婚ヨリ生スル夫妻同体ト云フ婦女ノ不能力ニ原因シ第二ハ家内ノ財産ヲ全ク夫ノ全權ニ歸セシムルノ致ス所トス又結婚セサル獨立ノ婦女ハ遺囑證書ヲ造ルコトヲ得ト雖モ結婚ヲ爲ス時ニハ前ニ成立セシメタル證書ハ無効トナルヘシ而シテ此場合ニテハ夫死亡シ妻生存スル時ト雖モ猶同前ノ證書ハ無効トス男子ハ其結婚ノ前タルト後タルトヲ問ハス遺囑證書ヲ作爲スルノ權アリ然リト雖モ結婚前ニ作爲シタル證書ハ結婚後ニハ無効トナルヘシ其理由ハ結婚ハ人生ノ一大事ニシテ且ツ子孫繁殖ノ道ヲ開クモノナレハ結婚前ト結婚後トニハ吾人カ其財産ニ對シテ有スル所ノ思想

モ變スルカ故ニ法律ハ結婚ヲ以テ前ニ作爲シタル遺囑證書ヲ全ク無
 効トセリ
 婦女ノ結婚スル後ハ遺囑證書ヲ作爲スル能ハスト雖モ又例外アリ即
 チ第一動産ニ係ル遺囑證書ハ夫ノ承諾ノ上之ヲ作爲スルヲ得ヘシ而
 シテ其證書ノ有効ナルニハ夫ニ於テ妻ヨリモ長壽ヲ保チ妻ノ死後曾
 テ之ヲ取消サ、ルモノトス第二妻動産處分人ナルトキニハ其處分人
 タルノ資格ヲ以テ其權内ニ屬スル所ノ財産ニ關シ遺囑證書ヲ作ルチ
 得第二妻別有財産ヲ有スルトキ然レトモ其別有財産ハ動産ニ限ルヘ
 シ第四夫法律上死亡セルトキ例ヘハ夫終身流罪ニ處セラレタルトキ
 人如シ
 亞米利加法律ニ依レハ近代ニ至リテ結婚婦條例ヲ設ケタリ其法各州
 同一ナラスト雖モ大抵皆妻ノ別有財産ヲ自由ニ遺囑證書ヲ以テ處分

スルヲ得ルモノニシテ該證ヲシテ有効ナラシムルニハ夫ノ承諾ヲ要セサルヘシ羅馬法ハ結婚婦ハ結婚セサル婦女ト同シク遺囑證書ヲ作爲スルヲ得ルノ例アリ而シテ佛伊和其他羅馬法ヲ繼受シタル諸國ハ凡ヘテ同一ノ制度ヲ用ヒタリ

現今ノ有様ニ依レハ英國ニテハ結婚婦ニ關スル條例ヲ發セリ此條例ハ凡テ結婚婦ノ遺囑證書ヲ以テ無効トスルヲ廢シ唯無効ニスルコトヲ得ヘキモノトセリ故ニ婚姻繼續中ニ作爲シタル遺囑證書ト雖モ妻生存シタル場合ニ於テハ之ヲ有効トナスヲ得ヘシ然レトモ此場合ニ於テハ夫死亡シタル後妻ニ於テ明瞭ナル所爲ヲ以テ前ニ作爲シタル證書ヲ有効ノモノトスル旨ヲ表示セサルヘカラス

第十五編 結婚前ノ夫妻財産契約ヲ論ス

夫婦ノ財産契約ヲ分チテ二種トス第一婚姻前ニ係ルモノ第二婚姻後

ニ係ル者ニシテ而シテ第一婚姻前ニ係ルモノヲ最モ有用ト爲ス之ヲ
 英語ニテ「マリエージセツトルメント」ト云フ即チ直譯スレハ婚姻ニ係
 ル取極メト云フコトナリ而シテ其婚姻後ニ係ルモノト全ク性質ヲ異
 ニスルモノナレハ之ヲ混同スヘカラス
 婚姻前ノ夫妻財産契約トハ夫妻ノ協議ヲ以テ未タ婚姻セサル前ニ婚
 姻後夫妻ノ財産ニ對スル權利義務ヲ定ムル所ノ約束トス佛法ニ依レ
 ハ婚姻ハ契約ナレトモ英法ニテハ婚姻ヲ以テ契約トセス故ニ此財産
 處分ハ全ク婚姻ト別物ニシテ此財産契約アルカ爲メニ夫妻間ノ法律
 上ノ權利義務ヲ伸縮増減スルモノニアラス唯其財産ニ關スルモノ、
 ミナ定ムルニアリトス而シテ此契約ノ約因ト云ヘキモノハ婚姻ニシ
 テ法律ハ其他ノ原因ヲ要セサルヘシ
 米國ニテハ英國ト同様ニ夫妻財産契約ヲ獎勵スルノ風アリ而シテ婚

百

姻前ニ爲サレタル契約ニシテ善意ニ出テ且相當ナルモノハ妻ヲシテ妻自身ノ財産ヲ享有スルコトヲ得セシムルモノナルト又ハ夫ノ財産ノ一部ヲ享有スルモノナルトヲ問ハス婚姻繼續中ナルト或ハ夫ノ死亡ニ依リテ婚姻ノ消滅シタルトヲ問ハス凡ヘテ有効ナリトス以上ニ陳ヘタル財産契約ハ夫妻及ヒ其子孫ニ利益ヲ及ホスヲ得ヘシ而シテ真正ノ子孫ノミナラス義子ニモ及ホスヲ得ヘシ然レトモ傍系ノ親ニハ及ホスコトヲ得ス右等ノ財産契約アル場合ニテハ若シ善意ニシテ且ツ相當ナルトキニハ債主ト雖モ取押ユルヲ得ス然レトモ若シ契約ヲ爲スモノ莫大ノ負債アルニモ拘ハラス身分不相當ノ契約ヲナシタルトキハ無効タルヘシ

若シ書面契約ヲ以テ婚姻前ニ財産ノ處分ヲ取極メタルトキハ其實行ハ婚姻後ニアリト雖モ法律ハ凡テ婚姻前ノ者ト異ニスルコトナシト

ス
財産契約ヲ爲スニハ法律上更ニ一定ノ書式ナシ通常ハ書面ヲ以テ契
約スルト雖モ時トシテハ口頭ノ陳述又ハ其他ノ方法ニヨリテ十分ニ
妻ト財産契約ヲ取結ヒタリト爲スノ場合アリ例エハ夫甲其名義ノ株
券ヲ其妻乙ノ名義ニ書換シメ他日其株券ノ一部ヲ賣買スルニ當リ妻
ノ別有財産ト同様ノ手續ヲ以テ賣買シタルトキハ何等ノ書面アラサ
ルモ該株券ヲ妻ノ別有財産トナスモノトセラレタリ
夫妻婚姻契約ハ獨リ夫婦間ニ於テ爲スヲ得ヘキノミナラス妻又ハ夫
ノ親族ニ於テ之ヲ爲スヲ得ヘシ然ル場合ニハ夫又ハ妻ニ結婚ヲ約因
トナシ金錢物品ヲ附與スルコトヲ約シタルモノ其契約ヲ履行セサル
トキハ之ヲ訴フルヲ得ヘシ
抑モ歐洲今日ノ習慣ニ於テハ伯父叔母等其甥姪等ニ汝子結婚セハ余

ノ有スル若干金ヲ與ヘント約スルコト少カラス斯ノ契約ハ無原由ノ
契約タルヤ明カナリ而シテ諸君モ已ニ契約法ニテ聽カレタルナラン
英法ニテハ契約ニ約因ナケレハ無効ナルコトヲ然ルニ右ノ場合ハ例
外ニシテ只契約ノ存在セシ證據アレハ之ヲ訴フルヲ許スモノトセリ
然リ而シテ此制度タルヤ日本ニテハ行ハル、理由ナシ何トナレハ日
本ニテハ親ノ財産ハ當然子供ノ相續スヘキモノト定リ居レハナリ之
ニ反シテ歐洲ニテハ親ノ財産ハ親ノ好愛スル人ニ與フルコトヲ得ル
モノトセリ
以上陳述シタルコトヲ畧説スレハ凡ヘテ夫妻又ハ其親戚ハ結婚ヲ約
因ト爲シ互ニ財産ヲ讓與シ又ハ各自ノ財産ニ對シテ一方ノ者ノ有ス
ヘキ利益ヲ定ムルコトヲ得ルモノトス
婦女結婚前ニ第三者ト約束ヲ爲シ自己ノ夫タルヘキモノニ知ラシメ

スシテ第三者ニ金錢ヲ與フルトキハ夫夫妻ノ財産ニ對シテ有スル處
 ノ權利ヲ妨害スルモノナルヲ以テ夫ノ申出アルトキニハ之ヲ無効ト
 ナシ曾テ讓與シタル財物ヲ取戻スコトヲ得ヘシ何トナレハ婦人一タ
 ヒ男子ト結婚センコトヲ約スルトキハ婦人ノ財産ハ男子ニ取リテハ
 婚姻目的物ノ一ニシテ婦人ノ富裕ナルト貧賤ナルトヲ問ハス夫トナ
 ラント欲スルモノハ、未、來、ノ、利、益、ノ、希、望、ヲ、失、ハ、シ、ム、ル、モ、ハ、ト、云、ハ、サ、ル、
 ハ、カ、ラ、ス、然、リ、而、シ、テ、男、子、ニ、ハ、斯、ク、ノ、如、キ、制、限、ナ、キ、モ、ノ、如、シ、其、理、由、
 ハ男子ハ財産ノ有無ニ拘ハラズ一旦夫トナル以上ハ妻ヲ養フノ義務
 アルニ因ル

第十六編 婚姻後ノ夫妻財産契約ヲ論ス

夫妻財産契約ハ婚姻前ニ係ルモノト其婚姻後ニ係ルモノト之ヲ區別
 セスンハアルヘカラス而シテ此二者ハ名稱ノ相似タルニモ拘ハラズ

婚姻後ノ
 夫妻財産
 契約ヲ論
 ス

其實ハ大ニ差違アルモノトス即チ婚姻前ノ夫妻財産契約ハ前ニ述ヘタル如ク諸君ノ已ニ了知セラル、所ナリ其婚姻後ニ係ルモノハ全ク夫妻間ノ讓與ノ性質ヲ帶フルモノトス加之婚姻前ノ財産契約ハ婚姻ヲ以テ約因ト爲スト雖モ婚姻後ノ財産契約ハ婚姻ヲ以テ約因ト爲スト得ス過去ノ事柄ハ以テ契約ノ約因トスルヲ得サルナリ故ニ其性質ハ財産契約ト云フト雖モ夫妻間ノ讓與ニ過キサルナリ(契約ト讓與トノ區別ハ契約ハ將來ニ權利義務ヲ生スルト雖モ讓與ハ否ラス一旦讓與ヲ遂行スルトキハ跡ニ何等ノ權義ヲモ生スルモノニアラストス)習慣法ニ依レハ夫妻間ニハ讓與ヲナス能ハサルモノナレトモ衡平法ハ之ヲ許セリ而シテ其性質ニ至リテハ全ク習慣法ノ原則ヲ翻カヘシタルモノニシテ充分ニ注意ヲ要スルモノナリ

婚姻後ノ夫妻財産契約ハ約因ナキカユヘニ之ヲ隨意ノ契約ト看サル

ウボランタリー
コントラクト

ハカラス^{ホランタリー}コントラクト^トハ約因^{コンドレーション}ナキ自由任意ノ契約ト

云フヨトナリ斯ク約因ナキニモ拘ハラス雙方間ハ有効トス第三者ノ
 權利ヲ妨害スル場合ニ於テハ之レヲ取消スヲ得ルノミ故ニ本編ニ於
 テハ二箇ノ要點ニ據リ夫妻間ノ讓與ヲ説明スルコトヲ要ス
 第一夫妻及其債主トノ關係

第二夫妻雙方間ノ關係

先ツ第一ノ夫妻及債主間ノ關係ヲ説カンニ夫妻間善意ノ讓與ハ總テ
 債主ニ對シテ有効トス而シテ其債主ニ對シテ効力ナキ場合ハ債主ヲ
 欺クノ心底アルカ又ハ之ヲ誣罔シタル場合即チ債主ヲ欺クノ結果ア
 ルトキノミトス故ニ夫妻間ニ身分相應ノ讓與ヲ爲スハ債主ニ於テ之
 ニ故障ヲ述ブルノ權ナシト雖モ夫タルモノ莫大ノ負債アルカ又ハ莫
 大ノ負債アラサルモ其妻ニ讓與ヲナスカ爲メニ債主ノ權利ヲ妨害ス

ルノ讓與ハ渾テ無効タルヘシ之ヲ要スルニ負債アルカ爲メニ讓與ヲ
ナス能ハスト云フニアラス又負債ノ金額ノ莫大ナルカ爲メニ讓與ヲ
爲ス能ハスト云フニアラス只讓與ヲ爲スカ爲メ自己ノ資力ヲ減殺シ
債主ニ對スルノ義務ヲ果ス能ハサルノミナラス其讓與ノ讓與者身分
ニ對シ不相當ナルトキハ之ヲ無効トスルニ過キサルナリ而シテ何レ
ノ場合ニ於テモ講究スヘキ要點ハ債主ヲ欺クノ心底アルト否トニ依
ルモノナレトモ到底各自心中ノ事柄ハ之ヲ知ルヲ得サルモノナレハ
只其外形ニ就テ事實ノ認定ヲ爲スモノトスルニ依リテ讓與ノ効力
隨意ノ讓與ハ前ニ述ヘタル場合ニ於テ獨リ通常債主ニ對シテ効ナキ
ノミナラス此場合ニ於テハ身代限ノ法律ト關係スルモノナレハ今茲
ニ明瞭ニスルヲ得ス而シテ夫自己ノ身代限ヲ條件トナシ其妻ニ財産
ヲ讓與スルノ約束ハ渾テ無効トス

離婚別及離
婚

1 Separation
2 Divorce.

合衆國ニ於テハ通常英吉利ト其制度ヲ異ニセス而シテ夫妻財產契約ニ關スル英吉利ノ條例ハ合衆國ニ於テハ習慣法ノ一部分トシテ採用セリ

第二 債主ニ拘ハラズ夫妻間ニ於ケル結果ハ渾テ有効トスルヲ以テ原則トス然レトモ該讓與ヲシテ有効ナラシムルニハ讓與ノ結了シタルコトヲ要ス故ニ只約束アルノミニシテ未タ履行セサルモノハ衡平法ト雖モ之ヲ履行セシムルコト無シ故ニ夫妻間ニ於テ有効ノ讓與ヲ爲スニハ獨リ約束アルノミナラス其約束ニ從テ實地之ヲ遂ケタルヲ必要トス

第十七編 離別及離婚

離別トハ法律上夫妻ノ關係ヲ消滅セシムルコト無ク夫妻別居シテ其間ノ權利義務ヲ縮少スルモノトス離婚トハ全ク法律上ノ關係ヲ消滅

Company. Share.

組合員ノ
株ニ對ス
ル抵當ハ
自己限リ
及ノ私借
ハスニ

Lien.

組合法

組合員ハ其物品ニ對シ抵當權ヲ主張スルヲ得ス
前ニモ言フカ如ク組合ノ財産ニ對スル各組合員ノ抵當權ハ組合カ組
合員ヘ貸付ケタル金額及ヒ組合員カ組合ニ貸附ケタル金額ニモ普及
スルモノナレトモ個ハ單ヘニ組合カ組合ノ資格ヲ以テ爲シタルトキ
及ヒ組合員カ組合員ノ資格ヲ以テ權利ヲ有シ義務ヲ負ヒタル時ニ限
ルモノトス故ニ組合員カ自己限リノ必要アリテ組合ヨリ金ヲ私借シ
後キ身代限ノ處分ヲ受クルモ右財産管理人ハ組合ニ對シ右ノ私借金
ヲ差引カスシテ先其組合員ノ株ヲ請求スルコトヲ得ヘキナリ又組合
ハ右貸金ノ請求ヲ爲スニ付特ニ其組合員ノ株ヲ差押フルコトヲ得ス
シテ專ラ其組合員ノ財産全体ニ對シ要求ヲ爲スノ外ナキナリ此法理
ハ獨リ組合ノ場合ノミナラス商社ノ場合ニテモ適用シ得ヘキモノニ
シテ彼ノ株主カ商社ヨリ金圓ヲ自己入用ノ爲メ借入レタル時商社ハ

組合法

百八十一

抵當權ノ
消滅

右金返濟ノ抵償トシテ其株主ノ所有株券ヲ差押フルコトヲ得サルモノトス但株券ヲ抵當ト爲ス等ノ特約アリタルトキハ此限ニアラサルモノトス其組合員ノ所有全額ニ限リテ株券ヲ差押フルコトヲ得サルヲ加ヘス組合財産ニ對セル各組合員ノ抵當權ハ其財産ヲ變シテ組合ノ財産ヨリ組合一個ノ財産ト爲スニ由リ爲メニ消滅スルコトアル可シ故ニ組合解散ノ下キニ於テ組合ノ財産ハ有形ノ儘各組合員ニ分配シ而シテ組合ノ負債ハ他ノ方法ヲ以テ支拂ハンコトヲ組合員中協議齊ヒ協議通りニ財産ヲ分配シタル後ハ設ヒ豫定ニ反シ負債償却ノ途相立タサルコトアルモ更ニ一旦分配シタル財産ヲ再ヒ操リ戻シテ其償却ニ充ント強ユルコトヲ得サルナリ是レ蓋シ分配ニ由リ既ニ組合ノ財産ヲ變シテ各自ノ財産トナシタレハナリ組合員ノ所有全額ニ限リテ以上抵當權ハ組合ノ資格ヲ以テ所有スル場合即チ所謂組合財産ニ付

共有者間
ニハ抵當
權ナシ

株主ノ有
スル株券
ニ對スル
商社ノ抵
當權

商社ノ株
主間ニハ
互ニ抵當
權ナシ

テノミ起ル所ノモノニシテ財産共有者ノ間ニハ斯ノ如キ抵當權ノ生
スルコトナシ唯船舶ノ共有者ハ船舶使用ヨリ上リタル總入額ヲ以テ
先ツ諸入費ヲ支拂ンコトヲ互ニ求ムルノ權利アリ是レ然シ船舶使用
ヨリ得タル金額ハ先ツ之レヲ得ル爲メニ費シタル金額ヲ支拂フコト
ニ充テサル可カラスト云フニ外ナラス

組合員ハ互ニ各組合員ノ株權ニ對シ差押權ヲ有スルモノナリトノ法
理ニ基キ商社ニ於テモ之レト同シク商社ハ各株主カ株券ニ對シ有ス
ル所ノ義務ニ付テハ亦其株券ヲ差押フルノ權アルモノトス但此差押
權利ハ株券讓渡ノ件ト抵觸セサランコト要ス又商社ノ場合ニ於テ
ハ組合ト異リ商社ヲ以テ一ノ無形人ト見做シ社員ト殊別シテ之ヲ論
スルカ故ニ商社ノ各株主ハ互ニ其株券ニ差押權ヲ有スルモノト爲ス
ヲ得ス是レ商社ハ組合ト異リ無形人ナリトノ原則ニ抵觸スレハナリ

株ノ移轉

故ニ或ル訴件ニ於テハ商社ノ債主カ商社ノ財産ヲ差置キ直チニ株主ノ財産ニ係リ負債ノ要求ヲ爲スヲ得スト判定セラレタルコトアリ

株ノ移轉ヲ論ス

凡ソ組合商業ノ契約ニ因リ生出スル處ノ組合ハ唯其契約者間ニノミ成立シ他ニ及ハサル可キコトハ敢テ言ヲ待タサルコトニシテ各自互ノ信用カ即チ契約ノ一要素ヲ形造ルモノナレハ組合ノ一人ハ仲間ノ承諾ヲ經スシテ他人ヲ其組合ニ加入セシムルコトヲ得サルモノトス故ニ若シ組合ノ一人死去シタルトキノ如キハ其相續人ハ組合ニ加入セント主張スルコトヲ得サルナリ但豫メ此ノ如キ場合ハ相續人ヲ以テ組合員ト爲ス可シト約シ置キタルトキハ格別ナリトス之ト同シク組合ノ一人ハ己レノ株權又ハ割前チ他人ニ譲リ而シテ其譲受人ヲ組合ニ加入セシムルコトヲ得サル可キナリ然ラハ組合一同ノ承諾ヲ經

移轉ノ効
果

解散ニ付
キ移轉ノ
効果

決算ニ付
キ移轉ノ
効果

サル株券ノ讓與ハ何等ノ効驗モナキカト云フニ決シテ然ラス組合解散ノ結果及ヒ讓受人ヨリ組合ニ向ヒ決算ヲ求ムル權利等ニ關シテハ多少其影響ヲ生スルモノナリ

第一、解散ノ結果ヲ生スルニ付株權讓渡ノコトヲ云ハンニ無期組合ノ場合ニ於テハ組合員ノ一人カ株權ヲ他ニ讓レハ其讓渡ノ爲メ組合解散ヲ來スモノ、如ク又之ニ反シ有期組合ノ場合ニ於テハ讓渡ノ爲メ解散ノ結果ヲ來サ、ルモ他ノ組合員ハ之レヲ理由トシテ解散ヲ主張スルノ原由ト爲ルコトアリト云フ是レ然レトモ未タ判例アリテ定リタルモノニアラサルカ故ニ株權讓渡ノ爲メニ組合解散ノ結果ヲ來スカ否ハ未タ一定ノ判例ヲ見サルナリ

第二、組合ノ一人ハ已レノ株高ヲ他人ニ讓リ依テ以テ其讓受人ヲ組合ニ加入セシムルヲ得サル可キモ若シ現ニ仲間ノ承諾ヲ經ス株高ヲ

讓渡シタルトキハ讓受人ハ如何ナル權利ヲ得ルヤト云フニ其權利ハ
 只組合決算ノトキハ其讓受ケタル株高ヲ得ルニ過キサルモノトス故
 ニ譬ヘハ讓受人ヨリ株券ヲ讓受ケタルコトヲ組合ニ通知スルモ其通
 知ノ爲メニ其時ヨリ株高ヲ確カムルヲ得スシテ組合ハ依然トシテ營
 業ヲ繼續シ通知後ニ生スル所ノ責任ヲ尙其株高ニ負ハシムルコトヲ
 得ヘシ故ニ讓受ヲ通知スルモ爲メニ株高ヲ其時ニ確定スルヲ得サル
 モノトス而ラハ讓受人ハ組合ニ對シ決算ヲ要求シ己レノ讓受ケタル
 株高ヲ受取ラント主張スルコトヲ得ルヤト云フニ是亦一定ノ判例ナ
 キカ如シ

賠償ヲ得ル權利ヲ論ス

凡ソ他人ノ爲メニ損失ヲ被ルトキハ其損失ノ賠償ヲ受クルノ權アル
 コトハ敢テ言ヲ待タサルコトナレトモ賠償ヲ受クルノ權利ハ必スシ

賠償ヲ得
 ル權利ヲ
 論ス

故三「ダンス」若クハ「ノルマン」人等カ暗殺セラレテ其犯罪者ヲ發見スル能ハサル場合ニハ其近傍ニ住スル英人ハ皆罰セラレタリト雖トモ英人カ暗殺セラレタル場合ニハ國民中一人ノ罰セラル、者アテサリシナリ然レトモエドワード三世ノ時ニ至リ斯ノ如キ法律ハ悉ク廢止セラレ内外人ノ區別ナク暗殺セラル、ト否トテ問ハス苟モ故意ヲ以テ他人ヲ殺害スルノ所爲ハ皆謀殺ト稱スルナリ

謀殺ノ定
義

エドワード、コーク氏謀殺ノ定義ヲ下シテ曰ク謀殺トハ健康ナル記憶及ヒ辨別力ヲ有スル人カ惡意豫謀以テ國王ヲ治下ニ浴スル人類ヲ不法ニ殺害スルノ所爲ヲ云フモノナリト故ニ今謀殺犯ノ性質如何ヲ知ラント欲セハ右定義ノ各部分ニ就テ論究スルヲ最良ノ方法トス第一、謀殺ノ犯罪者ハ必ラス健康ナル記憶及ヒ辨別力ヲ有スルノ人ナラサル可カラス如何トナレハ既ニ前ニモ述ヘタル如ク癡狂者及ヒ未

丁年者ハ惡事タルヲ知テ之ヲ爲シタル場合卽チ正邪善惡ノ辨別力存
在シタルコトヲ證明シ得ル時ニ非ラサレハ法律上罪ヲ犯シ能ハサル
モノト推測スルヲ以テナリ

第二、殺害ノ方法ハ必ス不法ナルヲ要ス蓋シ不法ナルコトハ正當若ク
ハ宥恕スヘキ理由ナキヨリ生スルモノニシテ實際謀殺犯ヲ組織スル
ニハ單ニ殺害スルノ意ヲ以テ攻撃スルノミニ止マラス現ニ殺害シタ
ル事ヲ必要ナリトス凡ソ人類ヲ殺害スルニハ毒殺、擊殺、餓死、溺死等其
他千種万類ノ方法アリト雖モ苟モ一種ノ殺害例ヘハ他人ヲ毒殺シタ
リトテ告發セラレタル人ハ射殺溺死等ノ如キ全ク性質ノ異ナル證據
ヲ以テ再ヒ之ヲ告發スルヲ得ス然レモ刀劍ヲ以テ傷ケタリト告發シ
タル場合ニ於テ棒或ハ斧等ヲ以テ傷ケタルノ證據アルカ如キ差異ハ
毫モ不可ナキナリ而シテ右諸種ノ方法中毒殺ヲ以テ最モ惡ムヘキモ

ノトス如何トナレハ之ヲ豫防スルヲ極メテ困難ナルヲ以テナリ故ニ
ヘヌリ一三世ノ如キハ毒殺ノ罪ヲ國事犯ノ部ニ入レ之ヲ罰スルニ
ハ最モ慘酷ナル刑ヲ用ヒ該犯罪者ヲ熱湯中ニ入レテ養殺スモノトセ
リ然レモ斯ノ如キ法律ハエドワード第六世ノ時代ニ至リテ悉ク廢止
セラレタリ要スルニ殺害ヲ來スノ結果ヲ豫知シ得ヘキ行爲ヲナシ爲
メニ他人ヲ殺害スルカ如キハ良シヤ自ラ手ヲ下サス且ツ初メヨリシ
テ殺害ヲ企テタルニ非ラサルモ謀殺犯トナルヲアリ例ヘハ娼妓等其
少兒ヲ菓園ノ樹下ニ置去リタルモ偶々紙鳶落來リ爲ニ少兒ヲ害シ或
ハ區役所ノ吏員等カ貧窮ノ孤子ヲ甲區ヨリ乙區ニ乙區ヨリ丙區ト次
第二傳送シ相當ノ注意ト滋養トナクキタル爲メ遂ニ死ニ致ラシメタ
ルカ如キ即チ是ナリ又猛獸ヲ飼養スル輩ノ不注意ヨリシテ猛獸他人
ヲ害シタル場合ノ如キモ其飼養主ハ殺人犯ヲ免レサルモノニシテ若

シ故意ニ之ヲ放チタリトセハ其目的ハ單ニ人民ヲ驚カスニ外ナラサルモ之ヲ煽動シテ他人ヲ害シタルト均シク謀殺犯ヲ以テ論スルモノトス若シ又醫師外科醫等病所ヲ治スルノ目的ヲ以テ劇藥又ハ技術ヲ施シ却テ反對ノ結果ヲ來シ患者ヲ殺害スルカ如キハ謀殺ニ止マリ謀殺ニモ非ラス殺人罪ニモ非ラスト雖モ醫師ノ免許ヲ得サル者カ劇藥又ハ治術ヲ施シ爲メニ患者ヲ殺害シタル場合ハ輕クモ殺人犯タルヲ免レサルヘシヘール氏ハ此ノ點ニ對シ疑問ヲ起シテ曰ク一方ニ於テハ醫師ノ不注意又ハ不熟練ノ爲メ患者ヲ死ニ至ラシムル如キハ其免許ヲ得サルト否トニ關セス殺人犯タルヲ免レサルト明白ナルニ他ノ一方ニ在テ謀殺ト爲スハ其區別判然セサルカ如シト又此殺害ヲ以テ謀殺ト爲スニハ被害者カ被害ノ後一年及ヒ一日内ニ死去スルヲ必要トシ其期限ハ被害ノ日ヨリ起算スルモノトス

明惡意 ^い express malice

第三、被害者ハ被害ノ當時英國皇帝ノ治下ニ浴スル人類ナラサル可カ
ラス故ニ外國人又ハ猶太人等ニシテ英王ノ保護ヲ受ケ居ル者ヲ殺害
スルモ純粹ノ英國人ヲ殺害スルト均シク謀殺ナリトス但シ戰時ニ於
テ敵國人ヲ殺害スルハ此限りニ非ラス又母ノ子宮裡ニ在ル少兒ヲ殺
害スル如キハ他ノ犯罪ニ屬スヘキモノニシテ謀殺犯ニ非ラス
第四、惡意豫謀ニ出テサル殺害ナルヲ必要ナリトス是蓋シ謀殺ト他ノ
殺害トヲ區別スルノ大標準ナラン而シテ惡意ニハ又明意默意ノ別ア
リ明惡意トハ心中豫メ殺害ヲ企テ待伏ヲ爲シ或ハ最初ニ毒藥ヲ用ユ
ル等ノ如キ心中ニ企テタルヲ外部ノ行爲ニ現ハス場合ヲ云フモノ
ニシテ例ヘハ兩人相互ニ決鬪ヲ約シテ期日ヲ定メ天人ノ法律ニ違反
シ妄リニ殺害ヲ試ムルヲ以テ恰モ紳士ノ義務男兒ノ權利ト思考スル
ノ勢ナルカ故ニ法律ハ特ニ謀殺ヲ以テ刑罰ヲ施スト雖トモ元來決鬪

ノ如キハ互ニ殺害スルヲ以テ名譽トスルノ妄想ニ出テ大ナル勇氣ヲ要スルモノナレハ何等ノ嚴刑ヲ加ヘタリトテ他ニ對手双方ヲ満足セシムルノ良方法ヲ設ケサル以上ハ到底斯ノ如キ不幸ノ習慣ヲ脱却スルヲ能ハサルヘシ又他ヨリ排發ヲ受ケ慘酷ナル方法ヲ以テ排發者ヲ歐打シ爲メニ致死セシメタル如キハ假令ヒ殺害ヲ企テタルニ非ラサルモ明惡意ノ謀殺タルヲ免レス公園ノ看守人カ園中ノ樹木ヲ切斷シタル少年ヲ懲ス爲メ之ヲ馬尾ニ縛リ附テ園中ヲ馳セ廻ラシメ主人カ其從僕ヲ懲治スル目的ヲ以テ鐵棒ニテ之ヲ歐打シ爲メニ少年從僕等ヲ殺害シタル場合モ亦均シク謀殺犯ナリトス如何トナレハ懲治スルニモ程度アリテ斯ノ如キ過度ノ方法ヲ用ユルハ苟モ惡意アルニ非ラサレハ決シテ爲シ得可カラサルヲナレハナリ故意ニ一般ノ人類ヲ敵視スルノ行爲ヲナス者例ヘハ群衆ニ對シテ馬ヲ馳セ大砲ヲ放チ或ハ

途上遭遇スル者ヲ殺害セント決定スルカ如キ其殺害セラル、者ハ何人ナルヤ確定セサルモ一般ニ對スル惡意アルヲ以テ均シク謀殺犯ナリトス若シ又二名或ハ二人以上相徒黨シテ一揆強盜等ノ如キ公安ヲ害スル不法ノ所行ヲ爲スニ當リ徒黨中ノ一ハカ良民ヲ殺害シタルカ如キ場合ニ於テハ其殺害者一人ノミナラス他ノ徒黨皆謀殺犯ヲ以テ論スルモノトス蓋シ最初ヨリシテ其行爲不法ナルヲ以テナリ惡意ノ判然外部ニ發露セサル場合ニ於テハ法律上惡意ノ存在ヲ推測スルコトアリ例ヘハ故意豫謀以テ他人ヲ毒害スル如キハ特別ニ怨恨ヲ證明シ能ハサルモ法律ハ惡意存在シタルモノト推測シ或ハ排發モナキ場合不意ニ他人ヲ殺害シ假令ヒ排發ヲ受ケタリトスルモ其程度甚タ輕少ナルニモ拘ラス他人ヲ殺害シタル如キモ亦然リ如何トナレハ苟モ無感覺ノ人物ニ非ラサル以上ハ無原因ノ行爲ヨリ生スル結果

ノ責ヲ免ル、能ハサレハナリ又言語若クハ形容ノミヲ以テ排發セラレタリトテ未タ之ヲ以テ排發者ヲ殺害スルノ理由ト爲スヲ得ス然レモ排發サレタル人カ不幸ニモ排發者ヲ歐打シテ殺害シ其歐打ノ方法タル之ヲ督責スルノ意ニ出テ殺害ノ意ヲ以テシタルニ非ラサルトテ證明スルニ足ルモ或ハ殺人罪ヲ以テ論スルトアリ又司法官等カ其職務ヲ行フニ當リ司法官タルトテ知リナカラ抗抵シテ遂ニ之ヲ殺害シ或ハ司法官ニ抵抗スル際ニ司法官ヲ補助スル人ヲ殺害シタル如キ場合ニ於テハ法律ハ惡意ノ存在ヲ推測シ殺害者ヲ罰スルニ謀殺ノ刑ヲ以テスルト雖モ若シ司法官ニシテ命令狀ヲ所持セサルカ或ハ不法ノ所爲アル場合ニ抗抵シテ遂ニ之ヲ殺害シタル如キハ單ニ殺人罪タルニ過キサルナリ又甲乙ノ兩人相互ニ爭鬪スルヲ視テ丙者之ヲ和解セシメントテ其意ヲ兩人ニ告ケ仲裁セントシタルニ爭鬪者ノ一人ハ

合衆國 八億二千五百萬圓

佛 國 三億七千五百萬圓

英 國 三億二千五百萬圓

獨乙國 二億萬圓

自餘ノ諸國 七億二千五百萬圓

右ノ額ニ就テ見ルトキハ合衆國ノ富ノ増加高ハ總額ノ三分一ヲ占ル
 モノナリ豈ニ盛ンナラスヤ

生産ノ要物ハ三者相待テ始メテ全キヲ得ルモノナルカ故ニ其一ニ於
 テ生産力ヲ増加スルトキハ從テ其物品生産ノ効驗ヲ大ニスルノ理ナ
 リ今如何ナルコトカ此三者ノ効驗ヲシテ大ナラシムルヤヲ見ルニ蓋
 シ分業ヲ以テ最トス凡ソ人間ハ開明ニ進歩スルニ從テ需用ヲ増加ス
 ルハ前日述ヘタルカ如キモノニシテ其需用ハ素ヨリ一身ニシテ供給

分業

スルコト能ハス故ニロビンソングールソーガ孤島ニ孤居シタルカ如キ時ニアリテハ衣食住ヲ始メ百般ノ需用ハ總テ自ラ生産供給セサルヲ得スト雖モ已ニ一家族ヲ爲スニ至レハ其從事スル所ノ業ヲ分チ夫ハ外ニアリテ魚ヲ漁シ獸ヲ獵シ妻ハ内ニアリテ割烹裁縫育兒ノ事ヲ司トルト云フカ如ク勞力ヲ分擔シテ生計ヲ營ムニ至ルヘシ若シ其業ヲ分タスシテ漁獵スルトキハ夫妻之ヲ共ニシ割烹裁縫スルトキモ亦夫妻之ヲ共ニセハ互ニ其力ヲ助グルヲ以テ多少ノ便ナキニアラサルヘシト雖モ山野ヲ奔走シ河海ヲ跋涉スルニハ女性ノ短處ナルヲ以テ往々夫ノ足手纏ト爲リ却テ夫ノ勞働ヲ妨グルノ嫌ナシトセス又肉ヲ割キ之ヲ烹燒シ或ハ衣服ヲ補綴スルハ男性ノ短處ナルヲ以テ往々粗暴等閑ヲ免レス却テ過燒破碎ノ患ナシトセス左レハ各其長所ニ依リテ勞力ヲ分ツハ則チ勞力ノ結果ヲシテ善長ナラシムルヤ疑ヲ容レサ

ルナリ故ニ亞米利加土人ノ最下ノ種族ニテモ尙男女ノ分業アリテ男子ハ戰爭漁獵ヲ事トシ兵器小舟ノ製作ニ從ヒ女子ハ薪割製革裁縫小屋ノ建築修繕小兒ノ養育ニ從事スト云ヘリ如此ク蠻野ノ人民ニ於テモ尙ホ勞力ノ分業ハ行ハル、モノニシテ社會ノ發達進歩シテ需用益々増加スルニ至レハ分業ニアラサレハ其需用ヲ満足スルヲ得サルナリ聞ク留針ノ製造ハ其完成ニ至ルマテ十八段ノ仕事アリテ先ツ鉄ヲ延ハシテ張金トスルヨリ之ヲ適當ノ長サニ切斷シ針尖ヲ作り針頭ヲ作りテ之ヲ針ニ付シ其針ヲ研キ紙ニ貫キ之ヲ包ム等ニ至ルマテ一人ニテ總テノ勞ヲ執ルトキハ最上ノ勞力者ニテモ一日ニ貳十本以上ノ針ヲ造クルコト能ハサルニ之ヲ分チテ其勞ヲ執ルトキハ十人ノ勞力者ニテ一日ニ五萬本ノ留針ヲ製シ得ヘシト云ヘリ分業ノ効驗ハ實ニ驚クヘキモノニアラスヤ若シ世ニ分業ト云フコト行ハレサレハ吾人

ハ皆自ラ耕ヤシ自ラ織リ百般ノ需用物皆自ラ供給セサルヘカラサル
ヲ以テ衣食住ノ爲メニ汲々トシテ是レ日モ足ラサルナリ何ソ螢雪ニ
書ヲ繙キ時ニ風月ニ吟咏スルニ暇アラシヤバスチヤ氏ハ吾人カ社會
ヨリ受クル所ノモノハ其社會ニ與フル所ノモノヨリ大ナルヲ説テ云
ヘルアリ曰ク試ニ村落ノ一工匠ノ如キモノニテモ之ヲ見ヨ此工匠ハ
日々板ヲ削リ卓机箆笥ノ類ヲ造リ汲々トシテ努力スルモ尙獨リ其貧
ヲ歎セン然レトモ其自ラ社會ヨリ受クル所ノモノヲ願ミレハ先ツ晨
ニ起キテハ衣服ヲ更ムヘシ其衣服タル美麗ナルニアラサレトモ之ヲ
製シテ衣服トナルニ至ルマテ費シタル所ノ勞力ハ實ニ巨大ナルヘシ
亞米利加人ハ綿ヲ産シ印度人ハ藍ヲ製シ佛國人ハ羊毛麻苧ヲ産シ
ラジル人ハ革ヲ産シ而シテ其物品ハ處々ニ運搬セラレテ紡キ之ヲ織
リ之ヲ染メ之ヲ裁キ之ヲ縫フ等其勞力ハ枚擧ニ暇アラス而シテ工匠

自身ハ敢テ毫モ是等ノ勞力ヲ助ケルコトナカルヘシ次テ朝飯ヲ喫スレハ其食スル所ノ麵包ヲ得ルニ草菜ヲ披キ土地ノ周圍ニ墾シ之ヲ耕ヤシ之ヲ耘リ肥料ヲ施シ種ヲ播キ果實ヲ結ブニ至レハ被害ヲ保護シ之ヲ刈リ之ヲ舂キ粉ヲ製シ之ヲ洩子之ヲ燒クノ勞アリ而シテ其間用ユル所ノ器具ヲ製スルニ鐵鋼木材石材ヲ以テシ或ハ動物ノ力ヲ借り或ハ水車ヲ用ヒ或ハ漚力ヲ使フ等實ニ夥多ナリトス其他一日ノ中ニ砂糖モ用ユヘク油モ用ユヘク種々食物器物等其用ユル所少ナカラサルヘシ其兒ヲ學校ニ送リテ教育ヲ受ケシムルニ其學フ所ハ淺キモ今古學者ノ勉強勞力ヲ盡セシコトヲ思ヘハ實ニ大ナリトス戶外ニ散步スレハ道路ノ建築修繕瓦斯燈等ヲ見ルヘク若シ他人ニ訟ヘラル、コトアレハ之ヲ辨護スル所ノ代言人アリ之レカ權利ヲ保護スル所ノ判官アリ裁判ヲ宣告スル所ノ諸官吏アリ皆多少ノ智識ヲ有シ是等ヲ學

習シタル勞力ハ實ニ幾何ソヤ禮拜所ニ至レハ其聞ク所ノ説教モ能ク
一朝一夕ニ爲シ得ヘキニアラス必スヤ數年學校ニ在リ又書齋館ニ籠
居シテ故ヲ温ネ新ヲ探リ巨大ノ勞力ヲ積テ茲ニ至ルモノナリ旅行ス
レバ其時ト勞力トヲ省ク所ノ鐵道アリ其鐵道ヲ作ルニハ地ヲ平坦シ
山ヲ截リ谷ヲ埋メ河ニ梁シ軌道ヲ布キ車ヲ据ヘ蒸氣機關ヲ用フル等
ノ勞力アリ其他此工匠カ用フル所ハ枚擧ニ暇アラサルヘシ由是觀之
誰カ該工匠カ社會ヨリ受クル所ト其社會ニ與フル所トヲ比較シテ
權衡ヲ得サルニ驚カサルモノアラシヤ故ニ余ハ斷シテ云ハントス
該工匠カ一日ニ消費スル所ノモノハ自ラ千年ノ歲月ヲ費シテ生産
スル所ヨリ尙多シト云々此言タルヤ經濟調和ノ現象ヲ形容シテ云
フタルモノナレトモ抑モ又分業ノ効驗ニ外ナラス分業ノ功實ニ偉
ナル哉

斯クノ如ク分業カ國家ノ生産力ヲ大ニスルハ左ノ利益アルニ由ル
第一 勞力者ノ精巧ヲ増加スルコト
第二 時間ト勞力ヲ省クコト
第三 天性ノ長處ヲ全フスルコト
第一如何ナル勞力ニテモ同一ノ所爲ヲ數々スルトキハ熟練ニ由リテ
其力非常ニ發達スルモノ也分業ヲ行フトキハ勞力者一意ニ一箇ノ事
ニ身ヲ投スルヲ以テ驚クヘキ精巧力ヲ増加スル者トスアダムススミ
ス氏ノ言ニ據レハ製釘專業者ハ一日ニ二千三百本ノ釘ヲ製シ得ヘキ
モ鍛冶師ノ只時々釘ヲ製造スルモノハ一日ニ八百本乃至千本ヲ製ス
ルニ過キス是モ熟練ノ後ニテ然ルモノニシテ其初メテ鉄ヲ製スルモ
ノハ僅ニ一日二百本乃至三百本ヲ製造シ得ルノミ又鑢磨リニ慣熟シ
タルモノハ一分時間ニ二百回ノ磨擦ヲナシ櫛工ノ精巧ナルモノハ一

寸巾ノ間ニ四十齒乃至四十八齒ヲ有スル程ノ細密ナル櫛ヲ一日ニ四十枚乃至六十枚ヲ製シ縫針ノ製造所ニテ針溝ヲ造タルコトニ從事スル兒童輩ハ精巧ナルニ至レハ髮毛ノ端ニ孔ヲ穿テ他ノ毛髮ヲ貫通スルニ至ルト云フ吾人ト雖モ初メテ割烹炊爨ノ事ニ從フトキハ粗畧失策等モアルヘシト雖モ漸次慣熟スルニ至レハ炊爨ニ一步ヲ讓ラサルニ至ル可シ

第二事業ヲ分チテ人々各一部分ノ事ヲ執ルトキハ一個人毎ニ見ルトキハ偏僻者ニシテ殆ント獨歩スルコト能ハサルモノナレトモ合シテ一体トナストキハ頗ル完全ナル勞力者トナルヘシ若シ人毎ニ全部ノ業ニ成熟セシメント欲セハ一生涯學習ニ從事スルト雖モ恐ラク成業スルコト勿ルヘシ然レトモ之ヲ分チテ各一部分ヲ習ハシメハ習フ所ノ業簡單ナルヲ以テ修業ノ爲メニ費ス時日モ少ク容易ニ成業ニ至ル

ヘク又一人ニシテ種々ノ業ヲ爲ストキハ甲ノ仕事ヨリ乙ノ仕事ニ轉
スル毎ニ使用スル所ノ器具ヲ換ヘ或ハ場所ヲ移ス等ノ爲メニ時間ヲ
徒費スルコト少カラス且ツ業ノ變スル毎ニ所謂氣ヲ轉スルヲ以テ更
ニ新業ニ馴レ染マテハ氣モ手モ落付カス多少時間ヲ要スルモノナリ
故ニ學生ノ如キモ種々ノ事ニ心ヲ奪ハレ一意其就ク所ノ業ヲ修メサ
ルモノハ浮々トシテ歲月ヲ過シ遂ニ何事モ仕出スコト能ハスシテ止
ムモノ少カラス蓋シ屢々諸種ノ業ニ移ルトキハ兎角ニ心ヲ他事ニ奪
ハル、ナ以テ自然懶惰ニ陥リ易ケレハナリ
第三人々ノ長技ニ據リ事ヲ執ラシムルトキハ其生産力ヲ大ニスルコ
ト少ナカラス例ヘハ前記ノ留針製造ヲ以テ見レハ鐵ヲ延ハシ之ヲ切
ルカ如キハ強壯ナル男子ノ勞力ヲ要スヘキモ針數ヲ算シ之ヲ紙包ニ
ナスカ如キハ兒童モ尙能ク之ヲ爲スヘシ若シ一人ニシテ之ヲナスト

キハ兒童ノ如キハ此業ニ從事スルコトヲ得ス而シテ強壯ナル勞力者ニシテ婦女老幼ノナシ得ル事業ヲ執ラサルヲ得ス勞力ヲ損スルコト大ナルヘシ又商業ニ長シタルモノニシテ鋤鋤ヲモ執ラサルヘカラス精巧ノ細工人ニシテ不精巧ノ勞力ヲナサ、ル可ラサルトキハ國家ノ勞力ヲ無益ニ費ヤスコト豈ニ少シトセンヤ加之國ノ地味氣候等ニ依リテ或ハ甲品ノ生産ヲナシ得ルモ乙品ノ生産ヲナス能ハサルモノアリ丙品ノ生産ニハ大ニ適スレトモ丁品ノ生産ニハ不十分ナルモノアリ今分業ヲ以テ甲國ハ其國ニ於テ天然生産ニ適當ナル物品ヲ生産シ乙國ハ亦甲國ニ不適當ニシテ己レニ適當ナル物品ヲ生産シ二國相互ニ有無ヲ通シ長短ヲ換ハ其利スル所實ニ大ナルヘシ是レ外國貿易ノ起ル所以ナリ聞ク英國ニ於テハ茶ノ供給ニ從事スルモノ僅ニ四萬五千人ニシテ尙能ク全國ノ需用ヲ満足スルニ足ルト云フ是レ國際ノ分

業アルヲ以テナリ若シ英國ニ於テ自ラ茶ノ耕殖ヲナサントセハ地味
ノ適セサル氣候ノ合ハサルカ爲メニ非常ノ勞力資本ヲ費ヤスニアラ
サレハ容易ニ國民ノ用ヲ滿タスコト能ハサルヘシト雖モ國際ノ分業
ニ由リ英國ハ他ノ物品ヲ生産シ遠ク東洋諸國ニ輸出シ之ヲ以テ茶ニ
換フルコトヲ得ルカ故ニ能ク僅ニ四萬五千人ノ勞力ヲ以テ全國ニ供
給スルコトヲ得ルモノナリ
斯クノ如ク分業ハ生産ノ効力ヲ大ニスルヲ以テ分業ノ盛ンニ行ハル
、ヲ得ル所ノ營業ハ分業ノ効驗益々大ナルヘシ農業ノ如キハ勞力ヲ
用フルコト大ナリト雖モ盛ニ分業ヲ行フコト難キヲ以テ分業ノ効驗
ハ製造業ニ及ハサルナリ如何程種蒔ニ巧ミナレハトテ年中種蒔ヲ事
トシ如何ニ草取ニ長スレハトテ年中草取ニ從フコト能ハス地ヲ耕ス
ニ季節アリ種蒔ニ時アリ收穫ニ期アリ又作物ノ種類モ一樣ナラス耕

殖ト牧畜ト相交ヘテ行フヲ利トス故ニ農業ニ於テハ盛ンニ分業ヲ行フコト能ハス之ニ反シテ製造業ニ於テハ盛ンニ分業ヲ行フコトヲ得ルヲ常トス時計製造ノ如キハ英國ニテ之ヲ百二部ノ業ニ分ツト云ヘリ實ニ盛ンナリト云フヘシニ
然ルニ分業ヲ行フコトヲ得ル營業ナレハトテ時ヲ問ハス場合ヲ撰ハス分業サヘ行ナヘハ利アリト云ヒ難シ假令分業ニ據リ巨量ノ物品ヲ生産スルモ之ヲ消費スルノ需要ナケレハ其生産物ハ無用ノ贅品タルニ過キス故ニ分業ノ制限ヲ定ムルモノハ市場ノ廣狹ニアリト云フヘキナリ現ニ東京ノ如キハ大工泥工屋根職指物師等各其業ヲ分チ大工ハ建具ヲ造クルコト能ハス指物師ハ家屋ノ切組ヲ爲スコトヲ得ス各其職業ノ外爲シ能ハサルヲ常トスレトモ地方殊ニ僻地ニ至ルトキハ大工ハ泥工モナスヘク建具モ作ルヘク屋根モ葺クヘク殆ント一人ニ

シテ之ヲ兼ヌルヲ見ル又僻地ノ市街抔ニテハ一商店ニテ吳服紙類菘
荒物等一切當用ノ物品ヲ賣ルモノアルハ敢テ奇トスルニ足ラサルナ
リ然ルニ東京ニテ吳服店ニ至リ紙ハナキヤ葺屋ニ入りテ草履ハナキ
ヤト云ハ、人々之ヲ以テ狂人ト稱スヘシ是レ東京ノ如キハ需要ノ廣
キカ故ニ分業能ク行ナハル僻地ハ市場ノ狹キカ故ニ分業行ハレサル
モノナリ
分業ト相並ヒテ行ハレサルヘカラサルモノハ勞力ノ協同是ナリ勞力
ノ協同ヲ分ツテ二種トス即チ單一協同混合協同是レナリ單一協同ト
ハ數人連合シテ同時同所ニ於テ唯一ノ事業ヲ執ルヲ云フ例ヘハ重量
ノ物品ヲ動スニ數人相共ニ勞働スル如キ是レナリ蓋シ之レ無ケレハ
道路ヲ造リ橋梁ヲ架シ家屋ヲ築ク等ノ事行ハレサルヘシ混合協同ト
ハ別時別所ニ於テ各異種ノ勞働ヲナシ其達スル所ノ目的チ一ニスル

ナ云フ例ヘハ木綿ヲ製造スルニ甲ハ綿ヲ産シ乙ハ之ヲ紡キ丙ハ之ヲ
 織ルカ如キ是ナリ此協同若シ能ク行ハレサレハ生産決シテ發達スル
 ナ得ス例ヘハ英國ハ木綿ノ製造甚盛ナリト雖モ其粗生品ナル綿ヲ
 生産スルハ北米合衆國ニアリ然ルニ合衆國ノ農民ハ盛ンニ綿ヲ生産
 スルモ之ヲ英國ニ運搬スルノ便ナケレハ合衆國生産ノ綿ハ其販路ニ苦
 ムノミナラス英國ノ木綿製造ハ行ハレサルヘシ又合衆國ニ於テ綿ノ
 生産ヲ減スルトキハ運搬ノ便アリト雖モ綿ノ供給續カサルヲ以テ英
 國木綿ノ製造ハ衰微スヘシ又家屋ヲ造ルニモ地固メヲ爲シ建前ヲ爲
 シ造作ヲ終ルモ屋根ヲ葺クモノ無ケレハ如何ナル金殿玉樓モ以テ居
 トナスニ足ラス大工泥工ノ勞力ハ無益ニ歸スヘキナリ故ニ勞力ノ分
 業行ハル、モ同時ニ勞力ノ協同行ハレサルトキハ分業ノ効驗ヲ全フ
 ルヲ得サルナリ此勞力協同ヲシテ其宜シキヲ得セシムルニハ通運ノ

便ヲ盛ニスルヲ良トス通運不便ナル時ハ物品ハ一方ニ積堆スルモ一方ニ欠乏スルカ如キコトアリ爲メニ勞力ノ協同ヲ妨クルコト少ナカラス又事業ノ大小ニ由リテ大ニ三要物ノ生産力ヲ異ニスルモノアリ夫レ初メノ千ヲ得ルハ次テ萬ヲ得ルヨリ難シ事業大ナレハトテ其大ナル割合ニ困難ヲ増加スヘキモノニアラス蓋シ蒸氣機關ヲ取扱フニ五十馬力ノ機關ニテモ百馬力ノ機關ニテモ均シク一人ノ機關士ヲ要スヘク十人ノ職工ヲ使役スルニモ二十人ノ職工ヲ使役スルニモ同シク一人ノ監督者ヲ要スヘク機械ヲ運轉スルニ五十馬力ヲ要スルモノ、價ハ百馬力ヲ要スル機械ノ半價ナルヲ得ス大業ノ小業ニ比シテ利アルハ多辯ヲ待タサルナリ然レトモ大業ヲ行フニハ巨額ノ資本ヲ要スヘキヲ以テ大業ノ利アルヲ知レトモ行ヒ難ク小業ヲ以テ満足セサルヘカラサルコトアルヘク又市場狹隘ナルトキハ大業ヲ以テ生産ヲ盛

ンニスルモ販路ナケレハ徒ラニ物品ヲ積堆スルノミ逐ニハ一年ノ中
幾分カ事業ヲ停止セサルヘカヲサルコトアルヘク其損失ハ却テ大ナ
ルヘシ左レハ社會ノ富ヲ増加シ資本ノ融通ヲ大ニシ市場ノ區域ヲ大
ニスルニアラサレハ大業ハ利アルモ行ハレ難シト知ルヘシ然レトモ
大業ヲ以テ生産力ヲ大ニスルヲ得ルハ事業ノ性質ニ存スルモノニシ
テ如何ナル事業ニテモ大業ハ小業ニ比シテ利アリト云フヘカラス例
ヘハ我邦ノ織物製造ノ如シ之ヲ大業ニシテ巨館ヲ設ケ數百臺ノ織機
ヲ備ヘ一日ニ數百反ヲ織出スモ毎戸室隅ニ織機ヲ備ヘテ製造スルモ
敢テ生産力ニ大差ナカルヘシ却テ毎戸賃織ヲナストキハ生産力ヲ大
ニスルモ計ルヘカラス何トナレハ一機毎ニ一勞力者ヲ要スヘク之ヲ
一處ニ集ムレハトテ散スレハトテ勞力ヲ省クニアラス却テ巨館ヲ設
グル費用丈ハ資本ヲ費ヤスコト大ナルニ過キサルナリ

分配

余輩ハ生産ノ大要ヲ講究セシヲ以テ今ヨリ分配ノ事ヲ説カントス分
 配トハ生産ノ結果ヲ配賦スルノ謂ニシテ之ヲ受クルモノハ土地資本
 勞力ノ三者ニアリ曾テ陳ヘタル如ク生産ノ要物ハ天然物勞力資本ノ
 三者ナリト雖モ天然物ハ人間ノ私有シ得ヘカラサルモノ多ク自由ニ
 之ヲ生産ニ使用スルヲ得ヘキヲ以テ敢テ之カ使用料ヲ拂フニ及ハス
 卽チ空氣日光ノ如キハ之ヲ使用スルモ若干ノ金錢ヲモ拂フニ及ハサル
 モノナレハ經濟上格別研究スルノ必要ナシ然レトモ土地ニ至リテハ
 各個人カ之ヲ私有スルヲ得ヘキヲ以テ誰ニテモ自由ニ使用スルヲハ
 キモノニアラス故ニ之ヲ使用スルモノハ相當ノ使用料ヲ拂ハサル得
 ヘカラス已ニ百般ノ生産上土地勞力資本ノ三者ヲ要セハ生産ノ結果
 ノ分配ヲ受クルモ亦此三者ノ所有主ニアルヘキハ當然ノコトニシテ

土地ノ割前ハ地主之ヲ受ケ勞力ノ割前ハ勞力者之ヲ受ケ資本ノ割前
ハ資本家之ヲ受クヘシ其地主ノ受クヘキ所ノモノヲ稱シテ地代ト云
ヒ勞力者ノ受クヘキ所ノモノヲ稱シテ勞銀ト云ヒ資本家ノ受クヘキ
所ノモノヲ稱シテ利子ト云フ請フ此三者ニ付テ之ヲ論セン
地代トハ生産物ノ總高ヨリ勞銀利子ヲ控除シテ餘ル所ノモノニシテ
土地ヲ使用スルカ爲メニ拂フ所ノ代價ナリ地代ハ素ト土地ノ固有セ
ル天然力ヲ使用スルカ爲メニ拂フ所ノモノニ相違ナケレトモ通例ハ
土地ニ投シタル資本ノ利子ヲモ包含スルモノナリ凡ソ土地ハ天然物
ナリト雖モ之ヲ以テ生産ノ用ニ供スルニハ多少資本ヲ投下セサルヘ
カラス如何ニ善良ノ土地ナリトモ草木ハ之ヲ除キテ開墾セサルヘカ
ラス塀牆ヲ繞ラシテ植物ヲ保護セサルヘカラス用水ノ便ニ乏シケレ
ハ或ハ水道ヲ通シ或ハ溜池ヲ築カサルヘカラス水害多キ地ナレハ堤

防ヲ築キテ之ヲ防カサルヘカラス左レハ毫モ資本ヲ放下セスシテ直
チニ生産ニ使用スルモノハ無シト云フモ可ナルヘシ然レトモ是等ノ
如キ土地ニ密着シテ土地ノ一部分トモ成リタル資本ノ利子ハ地代ノ
一部分トナリ地代ノ増減ニ伴フテ増減スヘク決シテ相離ル、ヲ得サ
ルモノナリ

前釋義ニ述フルカ如ク地代ハ勞銀利子ヲ控除シタル殘餘ニシテ其殘
餘ハ生産ノ場合ニ依リテ異ナルヘク從テ地代ニ大小ヲ生ス其大小ア
ル所以ノモノハ地味ノ肥瘠ト地位ノ良否ニ在リ夫レ土地ノ肥瘠同シ
カラサルトキハ同質同量ノ農産物ヲ生産スルニ資本勞力ヲ費ヤスコ
ト大ニ相異ナルシ例ヘハ上等ノ地ナレハ鋤鋤ヲ加フルコトモ容易ナ
ルヘク肥料ヲ施スコトモ少ナカルヘキニ下等ノ地ナレハ耕ヤスコト
モ難澁ナルヘク肥料ヲ要スルコトモ多カルヘキヲ以テ其資本勞力ヲ

費スコト必ス大ナルヘシ又土地ノ位置便ナルト不便ナルトハ尙ホ其
 土地ノ肥瘠ニ於ケルカ如キモノトス例ヘハ五里ヲ運搬スルト十里ヲ
 運搬スルトハ道路ノ形情運搬ノ方法ハ同一ナリトシテ十里ヲ運搬ス
 ル方其費用遙ニ大ナルヘシ故ニ市場ノ遠キトキハ生産ノ費用必ス大
 ナルヘシ然レトモ其生産物ノ價ハ同市場ニ賣ラル、ニ於テハ皆同一
 ナルヘシ假令某甲某ノ生産シタル米ハ武藏ノ豊饒ナル地ニ於テシ乙某
 ノ生産シタル米ハ奥州ノ貧瘠ナル地ニ於テシタルカ爲メニ東京市場
 ニ於テハ其米質同一ナリトセハ敢テ其價ニ高下アルノ理由ナシ然ルニ
 事實斯クノ如クナレハ誰モ東京ノ需要ニ供給スルカ爲メニ殊更ニ遠
 隔ナル奥州ノ瘠地ヲ耕ヤスモノナカルヘキカ如シト雖モ此地モ亦耕
 殖セラル、ハ何ソヤ蓋シ理由ナクンハアラス元來農産物ノ價ハ生産
 費用ノ最大ナル土地ヲ耕殖シテ其費用ヲ償フニ足ラサル可ラサルモ

ノナリ其故ハ已ニ耕地擴張ノ理由ヲ説キテ示シタル如ク耕殖ノ始マ
ルハ先ツ最上等ノ地ヨリシテ漸々下等ノ地ニ移ルモノニシテ其下等
ノ地ヲ耕ヤスニ至ルハ需要アルカ爲メナリ左レハ瘠地ヲ耕ヤシテ其
産物ヲ賣ルモ其生産ノ費用ヲ償フニ足ラサレハ誰モ其地ヲ耕ヤスモ
ノナカルヘシ其地ヲ耕ヤサレハ人民ノ食物ヲ得ル能ハサルヘシ然
ラハ其貧瘠ノ地ヲモ耕ヤサシムルハ農産物ノ價ヲ高フシテ其生産費
用ヲ償フニ足ラシメサルヘカラス是レ奥州ノ瘠地ト雖モ之ヲ耕ヤシ
其産物ヲ以テ遙々東京ニ供給スル所以ナリ然ルトキハ其瘠地ヨリハ
上等ノ地ヲ耕ヤスモノハ其生産物ヲ以テ勞銀利子ヲ支拂フテ尙ホ餘
アルヘシ此殘餘ハ即チ地代ナリ地代トハ經濟上ニテ云フトキハ獨リ
土地ノ借料ノミナラス地租モ亦地代ニシテ只其地主ニ入ルト政府ニ
入ルトノ差アルノミ而シテ其地代ハ土地ノ肥瘠運搬ノ便否ノ等差大

ナルニ從テ益々大ナルヘキモノナリ此理ハ則チ英國ノリカード氏ノ
 發見シタルモノトス氏ノ言ニ曰
 此ニ荒蕪未耕ノ地アリ數人來リテ殖民セリトセン此地最上ノ土地
 餘リアル間ハ各々代價ヲ拂ハスシテ自由ニ之ヲ所有スルコトヲ得
 ヘク從テ地代モナカルヘシ然レトモ若シ其最上ノ地ハ假リニ僅々
 タル資本ヲ以テ「エーカ」ニ付キ「五」クワウトル」ヲ生産スト定メ其地
 カ總テ耕殖ニ用ヒラレ人口尙ホ益々増加スレハ第二等ノ地ヲ耕ヤ
 サ、ルヘカヲサルニ至ラン若シ第二等ノ地ハ假リニ同一ノ資本ヲ
 以テ「エーカ」ニ付キ「四」クワウトル」ヲ生産ストセハ此時ニ至リテハ
 其生産物ノ價騰貴シテ「四」クワウトル」ニテ其生産費ヲ償フニ足ルヘ
 シ後ニ來リテ殖民スルモノハ「五」クワウトル」ヲ得テ「一」クワウトル」ヲ
 地主ニ拂フモ自ラ地主トナリテ「四」クワウトル」ヲ得ルモ毫モ異ナル

コトナカルヘシ若シ尙入口増加スレハ第三等ノ地ヲ耕サ、ルヘカ
ラサルニ至ラン此地ハ假リニ同一ノ資本ヲ以テ一「エーカ」ニ付キ三
「クワウトル」ヲ生産ストセハ其生産物ノ價騰貴シテ三「クワウトル」ヲ
以テ其生産費ヲ償ナヒ得ルニ至ルヘシ然ルトキハ第一等地ハ地代
二「クワウトル」第二等地ハ二「クワウトル」ヲ拂フニ至ルヘシ
右陳フル所ニ由テ之ヲ觀レハ地代ハ耕殖ニ使用シタル勞力資本ノ生
産力最モ少キ土地ノ生産物ノ量ト勞力資本ノ生産力之ヨリ大ナル土
地ノ生産物ノ量ト比較シタル差ニアルヲ知ルヘシ然ルニ諸國地代ノ
景況ヲ見ルトキハ多クハ習慣ニ依テ定リ實際ニ於テハ上等ノ地ニシ
テ却テ其次等ノ地ヨリ割合ニ少キ地代ヲ拂フモノアリ英國ノ如ク營
業上競争ノ盛ナルハ萬國ニ冠タル所ニテモ尙ホ地代ヲ拂フニ此地
ハ彼地ニ比シテ同シ勞力資本ヲ加フルモ生産ノ量ハ少キコト幾許ナ

ルヲ以テ此地ノ地代ハ幾許ナルヘシ抔ト考フルモノハナカルヘシ地
 主モ亦我地ノ地代ヲ請求スルニ付テ如此コトヲ考フルモノハナカル
 ヘシ故ニ世人或ハ此法則ヲ以テ實用ナシト考フルモノアリ勿論吾人
 カ飲食ヲナスニ當リテ我胃中ニ入りテ消化スル道理ヲ思ヒ呼吸ヲナ
 スニ當リテ血脈ノ運轉ヲ考フルモノハナカルヘキモ其法則ハ敢テ實
 用ナシト云フヘカラサルカ如ク地代ノ利モ亦土地ノ貸手借手共ニ之
 ヲ知ルモノハ少ク假令之ヲ知ルモノト雖モ敢テ實施スルノ考ナケレ
 ハトテ此理ハ競争ヲ以テ地代ヲ定ムルトキニハ必ス實際ニ發スル所
 ノモノナリ而シテ土地ノ貸借上競争充分ニ行ハルヘトセハ地主ハ此
 理ニ依リテ定マル地代ヨリ多クヲ得ント欲スルモ得ヘカラス借地人
 ハ之ヨリ少キ地代ヲ拂ハント欲スルモ亦得ヘカラスルモノナリ請フ
 例ヲ以テ之ヲ示サン

茲ニ甲乙ノ二地アリ乙地ハ最下ノ地ニシテ其生産スル所ノ米ヲ以テ
僅カニ生産ニ費シタル所ヲ仕拂フニ過キサレトモ甲地ハ乙地ヨリ上
等ノ地ニシテ其生産スル所ノ米ヲ以テ生産ニ費シタル所ヲ仕拂フテ
尙百俵ノ殘餘ヲ得ヘシトセンニ前ニ設ク所ニ由テ見レハ此百俵ノ米
ハ則チ地代トナルモノトス此場合ニ於テ甲地ノ所有者ハ其貸借人ニ
向テ米百十俵ヲ地代トシテ拂ハシメンカ借地人ハ其地ヲ借ルトキハ
收支相償ハスシテ毎年米十俵ノ損毛ヲ來スヘク寧ロ資本ヲ他ノ事業
ニ使用セハ世間普通ノ利益ヲ得ラルヘキヲ以テ其地ヲ借ルコトヲ辭
スヘク誰モ損ヲ爲シテ其地ヲ借ルモノナカルヘシ故ニ地主ハ百十俵
ノ地代ヲ得ント欲スルモ之ヲ得ル能ハサルヘシ之ニ反シテ借地人ハ
此地ヲ借ルニ九十俵ノ地代ヲ以テ地主ト約定センカ然ルトキハ此借
地人ハ此地ヲ借リテ營業スルカ爲メニ世間普通ノ利益ヨリ多ク利益

ヲ得ルコト米十俵ナルヲ以テ他ニ此地ヲ借ラシコトヲ望ムモノ多カ
ルヘク或ハ九十二俵ノ地代ヲ拂ハント云フモノアルヘク或ハ九十五
俵ヲ拂ハント請フモノアルヘクスクノ如クシテ段々ニ競上ケ遂ニ九
十九俵ノ地代ヲ拂フモ尙普通ヨリ一俵丈多ク利ヲ得ヘキカ故ニ此地
代ニテ借ラシト云フモノヲ生スヘシ然ルニ營業者ハ其費シタル資本
ヲ挽回シ相當ノ利益ヲ得レハ満足スルモノナルカ故ニ遂ニ百俵ノ地
代ヲ拂フテ此地ヲ借ラシト云フモノ生スルニ至リ競争ニ依リ此地ノ
地代ハ百俵ト定マルヘシ

如此苟モ競争ヲ以テ地代ヲ定ムルトキハ自然ノ理ニ適フモノニシテ
地主カ相連合スルカ又ハ農夫カ無法ノ競争ヲナスニ由リ借地人ハ勞
銀若クハ利子ノ一部ヲ割テ地主ニ與フルカ爲メ地代ハ理ニ依リテ定
マル額ヲ越ユルコトアルヘキモ永續スルヲ得ス若シ永續スルトキハ必

ス國家ノ經濟ヲ亂ルヘシアイヤランドニ於ケル「コチーヤ」ノ制以テ徵スヘキナリ然ルニ又地主ハ此理ニ由リテ定マル地代ヨリ少キ地代ヲ徵收スレハトテ農産物ノ價ヲ減スヘキモノニアラス如何トナレハ地代ハ素ト生産上ノ費用ニ關係ナキモノナレハナリ前ノ例ニ由リテ米百俵ノ地代ヲ納メ得ヘキ甲地ノ地主ハ借地料トシテ五十俵ヲ求メタリトセン然ルトキハ此地ノ借地人ハ利益大ナルヘキヲ以テ隨分其生産シタル米ヲ低價ニ賣ルモ妨ナカルヘシト雖モ苟モ需用減セサレハ乙地ニテ生産シタル米ヲモ需用スヘシ然ルニ乙地ノ借地人ハ已ニ地代ヲ拂フ餘地ナキモノナレハ到底其生産米ヲ低價ニ賣ル能ハス左レハ其價ヲ減セサルモ買手アルヘキヲ以テ甲地ノ借地人獨リ米價ヲ低フスレハ只世人ニ恩惠ヲ施スマテノコトニシテ一般ニ米價ヲ低フスルノ實效ナカルヘシ由是觀之ハ地代ノ多少ハ農産物ノ價ヲ左右スル

モノニアラサルナリ由基理之ハ此ノ如キニモ
已ニ地代ノ定マル所以ヲ明ニセハ地代ハ如何シテ増減スヘキヤヲ論
セン右ニ論シ來ル所ヲ以テ見レハ地代ノ増減ハ耕地ノ伸縮ニアルハ
シ農産物騰貴ノ爲メ耕地擴張シテ一層下等ノ生産力少ナキ土地ヲ耕
ヤスニ至レハ從來地代トナスモノナキ土地モ地代ヲ生スヘク從テ其
以上ノ土地ノ地代ハ皆増加スヘシ例ハハ甲乙丙ノ三地アリ甲ハ米十
石乙ハ米八石丙ハ米七石ヲ生産スルニ生産ノ費用ハ各七石ナリトセ
ハ甲ノ地代ハ三石乙ノ地代ハ一石ニシテ丙ハ地代ト云フモノナカル
ヘシ然ルニ耕地擴張シテ一層下等ナル丁地ヲ耕ヤスニ至リ丁地ハ六
石ヲ生産スルニ過キサレトモ米價ノ騰貴シタルカ爲メニ六石ニテモ
生産費用ヲ辦スルニ足ラハ從來地代ノナキ丙地モ一石ノ地代ヲ生シ
乙地ノ地代ハ二石トナリ甲地ノ地代ハ四石トナルヘシ之ニ反シテ米

價下落シ七石ニテハ足ラス八石ニアラサレハ生産ノ費用ヲ辦スル能ハサルニ至レハ丙地ハ耕ヤサレス耕地減縮スヘシ然ルトキハ乙地ハ最早地代ヲ拂フコト能ハス甲地ノ地代モ減シテ二石トナルヘキナリ然ルニ農業法改良ノ結果ハ之ニ異ナリ若シ低價ノ肥料ヲ發見スルトカ大ニ勞力ヲ省畧スル方法ヲ發明スルトカ何ニモアレ從來ト同シキ勞力資本ヲ以テ從來ヨリハ多量ノ生産ヲナスコトヲ得ルニ至リタルニ敢テ人口ヲ増加スルコトナク農產物ノ需要ニ變動ナケレハ農產物ノ供給ハ需要ニ超ユヘシ此時ニ當リテ其需要ニ超過シタル物品ヲ他ニ輸出スル能ハサレハ其價下落スヘク最早從來用ヒタル最下等ノ地ヲ耕ヤスニモ相當ノ利益ヲ得ル能ハサルヘシ故ニ最モ貧瘠ニシテ位置最モ不便ナル土地ハ耕殖ヲ停メ耕地減縮シ地代モ亦減スヘシ然ルニ食價下落スレハ人口増加スルハ必然ノ勢ニシテ農產物ノ需要ハ必ス

増加スヘシ故ニ農業法ノ改良セララル、ニ當リ需要増加シ生産ハ増加
スレトモ敢テ充溢スルコトナケレハ從來耕ヤシタル丈ノ土地ハ依然ト
シテ耕ヤサル、カ又ハ一時耕地ヲ減縮スルモ需要ノ増加ニ由リ耕地再
ヒ擴張シテ従前ノ度ニ復スヘシ若シ此改良ノ爲メニ生産高ヲ倍スト
セハ前例ヲ引用スレハ甲地ハ二十石乙地ハ十六石丙地ハ十四石ヲ生
産スルニ至ル割合ニシテ地代ハ増加シテ少クモ八石トナルヘシ此場
合ニ於テハ農産物價ノ下落スルカ爲メニ消費者ハ其利ヲ被リ而シテ
地主モ亦其所得ヲ増加スルヲ得ヘシ然レトモ如斯改良ハ全國ニ及フ
コトハ漸次ニシテ右ノ如キ結果ニ至ルマテ農業者ハ地代ノ幾分ヲ私
有スルコトヲ得ヘク故ニ早ク改良ヲナシタルモノハ隨テ其地代ヲ私
有スルコト長カルヘシ

右ニ論スル所ニ由リテ見レハ運搬便益ノ發達勞銀ノ減少利子ノ下落

ルモノナシト雖モ佛國ボチエー氏ハ之ニ反對ノ説ヲ述ヘ假令申込ノ取消狀先方へ着セサル前ニテモ既ニ之ヲ郵函ニ投シタル以上ハ取消ノ効ヲ生スヘシト言ヘリ去レトモ氏ハ亦他ノ點ニ於テ莫米法ト實際ト上異ナラサル説ヲナセリ即チ假令申込取消狀ハ郵投シタルモ其先方ノ者ニ於テ之ヲ知ラスシテ承諾シタルカ爲メニ生シタル損害ハ之ヲ要求スルコトヲ得ヘシト是其立論ハ同シカヲサルモ實際歸スル所ハ一ナルヘシ何トナレハ前ニモ述ヘタルカ如ク契約ノ成立シタル後ニ之ヲ實行セサルヨリ生スル損害モ亦申込ヲ繼續セサルニヨリ生スル損害モ實際均シカルヘケレハナリ

英國ニ於テモ亦右ノ規則ニ違ヘルカ如クニ見ユル判決例アリ敢テ古ルキ判決例ニハアラス今其事實ヲ畧述センニ六月八日附ノ書狀ヲ以テ甲ハ乙ニ左ノ申込狀ヲ送レリ其大意ニ曰ク

(余ハ余ノ所有ニ係ル某所ノ宅地ヲ八百磅ニテ賣渡スヘキ旨ヲ約束
 ス此申込ハ金曜日即チ十二日ノ午前第九時マテ繼續スヘシト
 右ノ文面ニアル約束ト言ヘル字ハ法律上申込ノ文意ニ過キス何ト
 ナレハ約束ノ字ヲ用フルモ之ヲ受ケタル者ノ之ヲ承諾スルニアラ
 サレハ合意即チ契約ノアルヘキ筈ナケレハナリ)
 然ルニ甲ハ六月十一日ニ於テ乙ニ通知スルコトナク右ノ宅地ヲ丙ニ
 賣渡セリ乙ハ其事實ヲ他ヨリ聞知シタルニ付キ六月十二日ノ午前第
 九時前ニ八日ノ申込承諾ノ旨ヲ返答セシカトモ甲ニ於テハ既ニ之ヲ
 丙ニ賣渡シタル旨ヲ告ケテ契約ヲ履行セサルニヨリ乙ハ之カ實行ヲ
 請求シテ衡平裁判所ニ訴ヘリ裁判所ニテハ乙ノ請求相立タスト判決
 セリ今此判決例ニ因テ之ヲ見レハ甲ハ通知ヲ爲サスシテ申込ヲ取消
 ストテ得タルカ如クナレモ能ク本訴判決ノ理由ヲ吟味スルトキハ凡

リ取消ニ通知ヲ要スル所以ノモノハ素ト申込ヲ受ケタル者ニ之ヲ取
消シタル旨ヲ知ラシムルニアレハ本場合ノ如キ申込ヲ受ケタル者ニ
於テ既ニ取消ノアリタルコトヲ熟知シタル上ハ取消ノ通知ヲ要セス
トセシナルヘシ
又他ノ一點ハ確定物賣買ノ申込ヲナスニハ申込者ニ於テ其確定物ノ
所有主ナルコトヲ要スルモノトセシニアラシカ他言スレハ余カ甲某
ニ向テ此書物ヲ賣ルヘシト謂フトキハ此書物若シ余ノ所有ニ屬スル
ニアラサレハ契約ヲ成立セシムルコト能ハザルモノトス譬ヘハ余今
甲某ニ向テ此書物ヲ賣ルヘシト申込ミ未タ其承諾ヲ得サル前ニ乙ニ
向テモ亦賣渡ノ申込ヲナシ乙先ツ承諾スルトキハ余ト乙トノ間ニ在
テハ契約成立シ書物ノ所有權ハ直ニ乙ニ移轉スルカ故ニ其後ニ至リ
甲ニ於テ買ハント謂フモ余ト甲トノ間ニハ契約ヲ成立セシムルコト

能ハサルナリ
凡ソ確定物賣買ノ場合ニハ之カ交付ナキモ單ニ約束ノミニテ其所有
權ヲ移轉セシムルコトハ動産ノ賣買法ニテ知ラルヘシ不動産ノ賣買
ニハ地券ニ類スル引渡ノ捺印證書ヲ交付スルニアラサレハ其所有權
ヲ移轉セシムルヲ得サルモ衡平法裁判所ニテハ賣買者雙方ノ間ニ在
テハ契約ノミニテ所有權ヲ移轉スルモノトセリ
然レトモ不確定物賣買契約ノ場合ニ於テハ賣主ノ其目的物ニ於ケル
所有權ヲ有スルヲ必要トセス譬ヘハ甲乙ニ向テポロック氏契約書一冊
ヲ賣ルヘシト申込ミタル後更ニ又之ヲ丙ニ向テ賣ルヘキ申込ナシ
乙丙俱ニ承諾スルトキハ甲ニ於テハ唯ポロック氏契約書一冊ノミニテ有
セルモ亦一冊モ之ヲ有セサルモ尙ホ甲乙並ニ甲丙間ニ二箇格別ノ契
約ヲ生スヘキナリ

又他ノ一點ハ假令前訴訟事件ニ於ケル甲乙間ニモ契約成立セリトス
ルモ甲丙間ニ先ツ契約ヲ生シタルカ故ニ丙ニ先取權アリテ乙ハ契約
實行ノ請求ヲナスコト能ハストナシタルニアランカ何トナレハ一箇
ノ物ヲ二箇格別ノ人ニ引渡スコトヲ得サレハナリ果シテ然リトセハ
原告人若シ衡平法裁判所ニ契約實行ノ訴ヲナサスシテ習慣法裁判所
ニ違約要償ノ訴ヲナシタランニハ必ス勝訴トナリタルヘシト主張ス
ルモノアリ
之ヲ要スルニ本件ニ於テ契約實行ノ請求ヲ容レサリシコトヲ以テ申
込ノ取消ハ通知ヲ要ストノ原則ニ違反スルモノナリトハ謂フヘカラ
サルカ
第十四 申込ノ繼續スル間ハ何時ニテモ之ヲ承諾スルコトヲ得ハ

申込ノ繼續スル間ナレハ之ヲ承諾スルヲ得ヘキコト理ノ當然ニシテ
 説明ヲ要セサルヘシ而シテ一度承諾アルトキハ申込承諾俱ニ各其性
 質ヲ變シ新ナル契約ヲ生スルコト猶ホ水素ト酸素ト合シテ新ナル化
 成物即チ水ヲ生スルカ如シ
 第十五 申込ト承諾トハ相互ニ符合スルヲ要ス
 申込ト承諾トノ符合スルヲ要スルモ亦自ラ明ナル規則ナリ何トナレ
 ハ申込ト承諾ト符合スルニ非レハ合意ノ生スヘキ理ナケレハナリ去
 レトモ符合トハ必スシモ言語上一字一句ニテモ符合セサレハ不可ナ
 リト謂フニアラス假令言語ハ符合セサルコトアルモ其指示セル意義
 同一ナルトキハ符合セルモノトナサ、ルヘカラス
 現金賣却ヲ申込ミ承諾者ニ於テ幾日ニ拂フヘシト謂フカ如キハ符合
 ニアラス又中等白米ヲ賣却スヘシトノ申込ニ對シ上等白米ヲ買ハン

ト謂フカ如キハ符合ニアラス又或ル訴訟事件ニ於テハ甲ヨリ乙ニ對シ某財産ノ賣却ヲ申込ミ乙ハ之ヲ承諾セシモ其條約書ハ汝ノ代言人ト予ノ代言人ト協議ノ上定ムヘシト申遣ハセシカ右ハ申込ノ儘ヲ承諾シタルモノニアラス申込ト承諾ト符合シタルモノニアラストセリ第十六ニ申込ヲ知ラスシテ承諾スルコトヲ得スト雖モ承諾ノ趣旨ハ法律ノ問フ所ニアラス申込ノアリタルコトヲ知ラサレハ承諾スルヲ得サルハ固ヨリノ事ナレトモ申込ヲ知リテ承諾チナシタル以上ハ如何ナル趣旨ニテ承諾スルモ可ナリ蓋シ結約者ノ目的ハ法律ノ問フ所ニアラサレハナリ本則ハ今更言フマテモナキコトナレトモ特ニ之ヲ爰ニ掲ケタルモノハ或ル訴件ニ於テ偶然斯ノ如キ規則アルヲ要スル場合起リタルヲ以テナリ其事件ニ於テハ被告人新聞ニ廣告シテ其親族某ヲ殺シタル犯

罪者ヲ搜索シテ告發シタル人ニハ其者服罪ノ時ニ若干ノ報酬ヲ與フ
ヘシト言ヒタルニ原告人ハ此事ヲ知ラスシテ犯罪人ヲ搜索シ裁判所
ニ訴ヘタル後始メテ廣告ヲ見其後犯罪者ノ服罪スルマテノ間始終證
據ヲ呈出セリ此場合ニ於テ犯罪者服罪シタルヲ以テ原告ヨリ廣告通
リノ報酬ヲ請求シテ出訴セシカ被告ハ之ニ答辯シテ原告ハ報酬ヲ得
ルノ目的ハナカリシナリ故ニ原告ノ請求ニ應シ難シト而シテ裁判所
ハ如何ナル趣旨ニテ承諾シタルニモセヨ法律ハ結約者ノ内心ヲ問ハ
サルカ故ニ被告ハ原告ノ請求ニ應セサルヘカラスト判決セリ此場合
ニ於テ被告若シ原告ハ申込ヲ知ラサリシニ就キ承諾スル能ハストノ
點ヲ以テ答辯シタランニハ或ハ勝訴トナリタルナラント雖モ被告ハ
之ヲ言ハス枝葉ノ點ヲ以テ答辯トシタルカ故ニ敗訴シタルナラン蓋
シ英國裁判所ハ單ニ原被雙方ノ呈出シタル論點ノミヲ判決シ其論點

外ノ事ニ關シテハ判決ヲ下サ、ルナリ

第十七 不完全ノ承諾又ハ申込消滅後ノ承諾ハ受申込者ヨリノ新ナル申込ノ効ヲ生スヘシ

前ニモ述ヘタルカ如ク申込ト承諾ト符合セサレハ合意ナク契約ヲ成立セシムルコトナシ不完全ノ承諾ハ申込ヲ拒絕シタルモノナリ又申込消滅後ニナシタル承諾ハ承諾ノ効ナキモノナリ去レトモ此二様ノ承諾ハ俱ニ受申込者ヨリ更ニナシタル新シキ申込ト同一ノ効アリ譬ヘハ甲乙ニ向テ百圓ニテ其或ル物品ヲ賣ランコトヲ申込ミタルニ乙ハ九十圓ニテ買ハント言ハ、雙方ノ間ニ契約成立スルコトナシ去レト甲若シ九十圓ニテ賣ラント言ハ、其時ニ九十圓ニテノ賣買契約成立シタルモノナリ又或ル物品ノ賣却ヲ申込ミ諾否ハ三日内ニ通知スヘシト申送りタルニ四五日ヲ經テ買ハントト通知セリトセンニ此

場合ニハ契約成立スルコトナシ然リト雖モ申込者若シ其通知ニヨリ
之ヲ賣ルコトヲ諾スルトキハ契約ヲ生スヘキナリ
或ル實例ニ於テ甲ハ乙ニ或ル田地ヲ千圓ニテ賣ルヘシト申込ミタル
ニ乙ハ九百五十圓ニテ買フヘシト返答セリ然ルニ甲ハ之ヲ賣ラサル
ニヨリ然ラハ千圓ニテ買フヘシト謂ヒシカ甲ハ尙ホ其田地ヲ引渡サ
ルヨリ乙ヨリ裁判所ヘ違約ノ訴ヲ起セリ裁判所ハ曰ク始メ乙カ九
百五十圓ニテ買フヘシト返答シタルハ即チ甲ノ申込ヲ拒絕シタルモ
ノニシテ之ト同時ニ甲ノ申込ハ既ニ消滅シタルモノナリ故ニ其後ニ
至リ千圓ニテ買ハント謂フモ最早申込消滅後ニシテ契約成立スルコ
トナシ此場合ニ於テ甲若シ九百五十圓ニテ賣ラント言ハ、其時新ナ
ル契約ヲ生スヘシト雖モ甲ハ之ヲ言ハス去レハ乙ノ後ニナシタル千
圓ニテ買ハントノ言ハ承諾ニアラスシテ新ナル申込ナリ故ニ之ヲ承

諾スルト否トハ甲ノ隨意ニシテ之ヲ承諾セサルモ強テ承諾セシムル
 ノ理ナシト
 第十八 受申込者カ申込者ニ對シ申込ニ就キ問合ヲナスハ申込ヲ
 承諾シタルニアラス又承諾ヲ拒ミタルニモアラス
 譬へハ甲乙ニ向テ手紙ニテ家屋ヲ千圓ニテ賣ランコトヲ申込ミタリ
 トセンニ乙若シ更ニ手紙ヲ以テ右ノ賣買ハ現金賣ナルヤ將タ掛賣ナ
 ルヤヲ問合ハストキハ之ヲ申込ヲ承諾シタルモノトハ言フヘカラス
 又申込ヲ拒絕シタルモノトモ言フヲ得サルナリ斯ノ如キ場合ニ於テ
 申込人若シ現金賣ナルトカ或ハ掛賣ナルトカ返答スルトキハ前ニナ
 シタル申込ヲ新ニスルモノニシテ其時ヨリ相當時間内ニ承諾スレハ
 契約成立スルモノトス
 第十九 承諾ハ通知ヲ待テ其効ヲ生スルモノトス

申込ヲ承諾スルモ其果シテ承諾セシヤ否ヤヲ對手ニ於テ知ラサレハ合意存スルコトナシ故ニ承諾ニハ必ス通知アルヲ要ス去レト實際ニ於テハ此原則ヲ適用スルコト能ハサル場合却テ多シソハ遠地ニアル兩人ノ間ニ通信ヲ以テ結約スル場合尤モ重ナルモノナリ此場合ニハ申込者ト受申込者ト同時ニ契約ノ成立ヲ知ルコトハ到底出來難キコトナリ若シ承諾スルモ其承諾狀ノ達スルマテハ申込者ニ於テ之ヲ知ラサルヲ以テ契約成立スルコトナシト言ハハ承諾者ニ於テモ亦其承諾狀ノ果シテ申込者ニ達セシヤ否ヤヲ知ルヲ必要トセサルヘカラス又更ニ申込者ニ於テハ承諾狀ノ達シタル旨ノ通知書カ果シテ承諾者ニ達セシヤ否ヤヲ知ルヲ必要トセサルヘカラス斯ク始終相輪轉シテ到底際限ナカルヘシ故ニ英國法ニテハ契約ノ成立ヲ對手雙方共ニ同時ニ知ルコトハ必要ニアラスト定メタリ蓋シ實際止ムヲ得サルニ出

テタルモノニシテ若シ強テ普通ノ規則ニ從ハントセハ到底通信ヲ以テ契約スルコト能ハサルニ至ルヘケレハナリ是ヲ以テ法律上推測シテ申込ヲ受ケタル人カ承諾狀ヲ郵便函ニ入レタルトキハ申込者ニ通知アリタルモノトシ契約成立スルモノトナスナリ去レトモ今日コソ斯ク確定シタルカ如クナレトモ容易ニ斯ク定マリタルモノニアラス殊ニ後ニ至テ解明スルカ如ク或ル點ニ就テハ此規則モ未ダ全ク定マリタルモノト謂フコト得サルカ如シ左ニ之ヲ詳説スヘシ

郵便ニテ契約ヲナシタル尤モ古キ先例ハアダムス對リンドセルノ訴件ナリ被告ハ原告ニ九月二日附ノ手紙ヲ以テ羊毛賣込ノ申込ヲナシタリシカ原告人ノ宿所ヲ間違ヘタルニヨリ其書狀少シク遅レテ九月五日ニ原告ニ達セリ原告ハ之ヲ受取ルヤ否ヤ同日ノ夕刻ニ承諾狀ヲ郵便函ニ投セリ然ルニ被告ハ承諾狀ヲ受取ラサル前既ニ承諾ナキモ

ノト思考シテ其羊毛ヲ他人ニ賣リタルヲ以テ原告ヨリ違約ノ訴ヲナ
セリ被告之ニ答ヘテ曰ク原告ノ手紙來ラサル前即チ契約成立前ニ他
人ニ賣リタルコトナレハ違約ノ責ナシト言ヒタレトモ裁判所ハ判決
シテ凡ソ申込ハ相當ノ時日内ハ繼續スルモノニシテ原告カ其申込繼
續中ニ承諾狀ヲ郵便函ニ入ル、トキハ爰ニ雙方意思ノ投合アルモノ
ニシテ契約成立スルモノナリ若シ然セサルトキハ郵便ニテ契約スル
コトハ到底ナシ能ハサルニ至ラント謂ヘリ

其後ポッター對サンダーノ訴件ニ於テハ同一ノ判決ヲナシタレトモ
其時ノ或ル判事ノ言ニハ承諾狀ヲ郵便函ニ入レ其承諾狀若シ郵便ノ
順ニ達セシナラハ投函ノ時ヨリ契約ヲ生スヘシト謂ヘリ

又ダンロップ對ヒツギンスノ訴件ニテハ手紙ニテ申込ミ受申込者ハ其
日ノ執務時間内ニ承諾狀ヲ投函セリ而シテ此承諾狀若シ順ニ着セシ

~Cottenham.
 British of American [†]Dictum.
 Telegraph Co. v. Colson. [‡]Ratis decidendi.

ナラハ某日午前八時マテニ着スヘカリシニ道路ノ惡シカリシ爲メ後
 レテ午後二時ニ着ケリ然ルニ申込人ハ午前八時ニ着セサリシヲ以テ
 承諾ナキモノトシテ物品ヲ他人ニ賣拂ヒタルヲ以テ承諾者ヨリ違約
 ノ訴ヲナセリ裁判所ハアダムス對リンドセルノ訴件ト同一ノ判決ヲ
 下シ道路ノ惡シカリシハ承諾者ノ過失ニアラス投函シタル時ヨリ契
 約成立スルモノナリト謂ヘリ其時判事^ハコツデンハム侯曰ク郵便函ニ
 承諾狀ヲ入ル、トキハ其後ハ如何ニ成行クモ夫レカ爲メ毫モ影響ヲ
 蒙ルコトナシ契約ハ投函ノ時ヨリ成立スト此侯ノ言ハ一己^{モゾク}ノ説ニシ
 テ裁判官カ裁判スルニ必要ナル理由ヲ述ヘタルニハアラス之ヲ以テ
 英米電信會社對^リコルソンノ訴件ニテハダンロップ對ヒツギンス訴件ノ
 結果ヲ制限セントシテ裁判シタルコトアリ
 此訴件ハ被告ヨリ原告會社ノ株主タランコトヲ申込ミ會社ハ其申込

ニ對シ承諾ノ上帳簿ニ記名セシ旨ヲ申送リタルニ其承諾狀被告ニ着セサリシナリ其後被告ハ株金ヲ拂フコトヲ拒ミシニ就キ原告會社ヨリ出訴セリ裁判所ハ申込者ニ承諾狀カ達スルマテハ契約成立セス若シ着スルトキハ投函ノ時ニ溯リテ其効ヲ生シ其時ヨリ契約成立スルモノナリト謂ヘリ此訴件ニヨレハ手紙ノ着スルコトヲ必要トセシナリ

又ハリス訴件ニ於テハ或ル會社ノ株主タランコトヲ申込ミ會社ニテハ承諾狀ヲ發セシモ申込人ニハ久シキ間着セサリシヲ以テ申込ノ取消狀ヲ發シタリシカ是ト前ノ承諾狀トハ途ニ行違ヘリ此場合ニ於テ裁判所ハダンロツプ對ヒツギンス訴件ニヨリ被告ニ違約ノ責アリト判決セリ即チ此訴件ハ英米電信會社對コルソンノ訴件ヲ破棄シタルモノナリ去レトモ此訴件ニテモ判事^ルメリシ氏ハ異說ヲ唱ヘテ曰ク承

諾狀ヲ投函シタルトキヨリ契約ハ成立スヘシト雖モ若シ其承諾狀ノ
 着セサルトキハ申込人ニ於テ契約成立セサリシモノト看做スコトヲ
 得ヘキ解除條件付ノモノナリト
 右ノ二訴件ハ承諾狀若シ途中ニ紛失シテ着セサルトキハ契約成立ス
 ルコトナシトノ制限ヲ加ヘントセルモノニシテ英國ニテハ此點未タ
 一定セサリシカ米國ニテハ一千八百五十年ヨリ承諾狀ノ着否ニ關セ
 ス投函ノ時ヨリ成立スルモノトナセル先例アリテ^をロル對火災保險
 會社訴件即チ是レナリ
 此訴件ハ被告人ノ問合ニ答ヘテ會社ヨリ原告人ニ其家屋ヲ保險セン
 コトヲ申込ミ原告人ハ承諾ノ手紙ヲ郵便函ニ投セシカ未タ會社ニ着
 セサル前原告ノ家屋燒失セリ此場合ニ於テ會社ハ保險金ヲ拂ハサル
 ヘカラスト判決セラレタリ其理由ハ契約ハ投函ノ時ヨリ成立スルモ

ノトスレハナリ去レトモ此訴件ニ於テハ承諾狀ハ實際着シタルニテ未タ全ク着セサリシ先例トテハナカリシカ一千八百七十九年ニ至リテ初メテ英國ニ一訴件起リ其訴件ニテ承諾狀若シ紛失スルモ尙ホ契約ハ成立スルコト、一定セリ其事實ハ原告會社ノ支店田舎ニアリテ是レニ被告ヨリ株買入ノ申込ヲナシタリ依テ右ノ支店ハ倫敦ナル本店ニ其旨ヲ通知シ本店ヨリ承諾ノ旨ヲ認タメタル承諾狀ヲ郵便ニ投セリ其後間モナク會社ハ解散シタルヲ以テ其跡引受人ヨリ被告ヲ相手取リテ株金拂込ミノ訴ヲ起セリ而シテ此場合ニ於テ右ノ手紙ハ實際被告ニ着セサリシカ尙ホ契約ハ成立セサルモノナリト判決セリ右ノ訴件以來英米共ニ承諾狀ヲ郵便函ニ入ル、トキハ其着否ニ拘ラス契約成立スルモノニシテ亦動カスヘカラサルモノトナレリ蓋シ止ムヲ得サルニ出テタル例外ノ規則ト謂フヘシ

去レトモ米國わラングテル氏ハ尙ホ反對ノ説ヲナセリ今其説ヲ畧述スレハ承諾ハ通知ヲ必要トスルヤ否ヤハ之ヲ一概ニ論スヘカラス偏務契約ナルト雙務契約ナルトヲ區別スルヲ要ス元來承諾ハ其性質ニ於テハ通知ヲ要スルコトナシト雖モ雙務契約ノ場合ニハ承諾ノ中ニ反對ノ申込ヲ含蓄スルカ故ニ申込ノ性質上通知アルヲ必要トス偏務契約ノ場合ニハ受申込者カ承諾スルト同時ニ或ル事ヲ爲シ終ルモノニテ然ルトキハ承諾ノ當時ヨリ受申込人ニ對シテ契約成立セルモノトナサルヘカラス若シ然セサルトキハ受申込人ヲ保護スルヲ能ハサルニ至ラン譬ヘハ甲カ乙ニ對シテ乙若シ丙ニ金ヲ貸サハ丙ノ之ヲ辦償セサル時ニ當リ代ツテ辦償スヘシト申込ミ乙其申込ニ應シテ丙ニ金ヲ貸ストキハ其時ヨリ乙カ甲ノ申込ヲ承諾スルコトノ通知ヲ俟タスシテ契約成立スヘシ何トナレハ若シ然ラサルニ於テハ乙カ丙ニ金ヲ貸

シ甲ニ通知セサル前ニ甲ニ於テ保證スヘキ申込ヲ取消シタランニハ
乙ハ甲ニ欺カレタルニ均シキ不慮ノ損失ヲ蒙フルヘケレハナリ又一
例ヲ擧クレハ東京ノ甲某ヨリ大阪ノ乙某ニ酒幾樽ヲ送ルヘシト注文
シ乙其注文ニ應シテ酒樽ヲ船ニ積ミ既ニ出帆シタル後ニ甲其申込ヲ
取消シタリトセンニ若シ其船破レテ酒樽既ニ存在セサルトキハ如何
斯ル場合ニ於テハ受申込者ニ於テ承諾ニ該當スル事ヲナシタル時
ヨリ契約成立スヘシト右考ハ英米國外ノ法學者ノ言ハサル所ナレト
モ甚タ妙説ト謂フヘシ併シ伊太利國一千八百八十三年制定ノ商法第
三十六條ニハ同様ノ規則ヲ設ケリ其條ニ曰ク申込ノ性質若シ之ヲ承
諾スル者ニ於テ直ニ事ヲサントスルモノニシテ受申込者カ先ツ口
頭ニテ承諾ヲナシ其後約束ノ事ヲ履行スルカ如キ場合ニアラサルト
キハ受申込者カ申込通リノ事ヲナシタルニヨリ承諾アリタルモノト

シ敢テ通知ヲ要セスト去レトモ雙務契約ノ場合ニハ承諾ノ中ニ申込
ヲ含蓄スルモノナルカ故ニ右ノ論ヲ適用スヘカラス蓋シ申込ニ通知
ヲ要スルハ一般ノ原則ナレハナリ凡ソ雙務契約ハ約束ト約束トカ互
ニ約因トナリ居ルモノナリ譬ヘハ甲カ乙ニ或ル物ヲ賣ラント謂ヒ乙
之ヲ買ハント謂フトキハ賣ルノ約束ト代金ヲ拂フノ約束トカ雙方ノ
約因トナリ居ルモノニシテ斯ノ如キ場合ニ甲ヨリ賣ラント謂ヒ乙ハ
買ハント謂フトキ乙ノ買ハント謂フトコトハ甲ノ賣渡ノ申込ヲ承諾シ
タルト共ニ買入ノ申込ヲナシタルナリ故ニ申込ノ原則ニ從ヒ其通知
アルヲ必要トス總ヘテ約束ハ承諾ノアルマテハ申込タルニ過キス故
ニ假令其外形ハ約束ノ如クナルモ尙ホ法律上ニテハ申込タルニ外ナ
ラサルモノナリ

右ラングテル氏ノ説ハ其當ヲ得タルモノニアラスト思ハル何トナレ

ハ雙務契約ノ場合ニテモ申込ニ對シテ承諾アルトキハ受申込者ニ於テ其承諾スルト共ニナス所ノ申込ハ始メヨリ申込者カ豫期シタル所ノモノナルヘケレハナリ或ル物ヲ賣ラント謂ヒ先方ニテ買ハント謂フトキハ其買ハント謂フ申込ハ之ヲ通知セサルモ申込者カ申込ヲナシタル時ニ於テ豫メ承諾シテ通知シタルモノトセサルヘカラス且ツラングテル氏ノ言ヘル如ク買ハント謂フコトハ申込ナルニ就キ通知ヲ要ストセハ之ヲ受ケタルモノニ於テ其申込ヲ承諾スルト否トハ隨意ナルヘキニ一旦賣ルヘシト謂ヒ買ハント謂フ者アルトキハ確定動カスヘカラスアル契約ヲ生スヘキニアラスヤ畢竟買ハント謂フコトハ通常ノ申込トハ見ルヘカラスナリ

印度契約條例ニテハ承諾狀ヲ郵便函ニ入レタル時ヨリ申込者ニ對シテハ承諾ノ効アレトモ承諾者ニ對シテハ承諾狀ノ先方へ着シタル時

萬國法律週報發行廣告

每週金曜日出版●一冊定價金四錢五厘●八冊豫約前金三十貳錢●十六冊同六拾錢●三十二冊前金壹圓八錢●六十四冊同壹圓九拾錢●但東京區外并各地方遞送ハ別ニ一冊ニ付郵稅壹錢宛申受ケ候●郵便切手代用ヲ禁ス

主筆 英吉利法律學校幹事兼講師 法學士 正七位 渡邊安積

今ヤ我日本帝國ハ條約改正ヲ決行シ全國ヲ開放シ外人ノ雜居ヲ許シ裁判權ヲ恢復シ内外人ヲ問ハス一律ニ我國法ヲ以テ之ヲ處セントス是レ實ニ我國ヲシテ文明國ノ列ニ加ヘ眞正獨立ノ一帝國タラシムル者ニシテ我國民タル者各應分ノ力ヲ出シテ以テ國家ニ盡スヘキノ期ハ抑モ今日ヨリ急且切ナルハナシ就中法律學ヲ以テ己レカ職トスル者ニ至リテハ須ク其技能ヲ盡シ一方ニ於テハ我國法律ノ改良ヲ補翼シ他ノ一方ニ於テハ同胞三千七百萬人ヲシテ法律上ノ智識ヲ涵養セシムルコトヲ勉メサルヘカラス法學士渡邊安積先生大ニ茲ニ慨スル所アリ英吉利法律學校諸氏ノ補助ヲ借り萬國法律週報ヲ發行シ以テ聊カ前述ノ本分ヲ盡サントスルノ舉アリ乃チ本店ニ於テ之ヲ發行シ廣ク國內ニ頒布セント欲ス

明治十九年十一月

萬國法律週報發行所

法律書店

錦水堂

萬國法律週報廣告

今般萬國法律週報發兌候ニ付校
外生諸君ノ爲メ錦水堂ト特約ヲ
結ヒ八冊前金二十四錢ヲ以テ賣
渡シ候但シ東京區外ハ一冊ニ付
郵税金一錢ヲ申受ケ候

萬國法律週報第十二、十三號出版セリ
第十二號目次○萬國公法理論(イースト
レーキ君)○私擬判事登用試驗答案(藤井
乾助)○佐野氏ノ駁論ニ答フ(星野操)○攻
法會討論筆記○雜件
第十三號目次○攻
通罪論附山田法學士ノ意見(畔上啓策)○
占有ノ何物タルコトヲ論シ併セテ住の江
氏ノ惑ヲ解ク(佐野春五)○鼠ノ裁判(西澤
弘道)○判決例○攻法會討論筆記○雜件
東京神田區神保町壹番地
錦水堂

第十九號總丁數七十六頁ヨリ直チニ八十
一頁ニ移レ此間敢テ脱紙アルニアラス
第十二號組合法九十一頁七行目ニ可

カラス「ハ可シ」ノ誤植
第十九號刑法中絶體トアルハ絶對ノ誤植

法學士山田喜之助先生著

英親族法

洋裝美本全壹册
實價金九十五錢
郵稅二十六錢

親族法ハ夫妻親子後見人被後見人等ニ關
スル一切ノ法理ヲ網羅詳論スルモノニシ
テ所謂身分法ト云フモノナリ而シテ本書
ハ特ニ注意シテ家族ノ財産制度ヲ反覆叮
嚀ニ説明シ英米古代習慣ヨリ現行法ニ論
及シタレハ方今社會的ノ論議ノ盛ンナル
時ニ當リテハ獨リ法律家ノミナラス我日
本國ノ社會ヲ再造シテ歐米ノ如クナラシ
メントスルノ志士ハ希クハ潛心熟讀取捨
スル所アルヘキナリ

東京日本橋區久松町十五番地

博文堂

發兌書肆 原田庄左衛門

○第一科教課及受持講師姓名(ハ参考科外)

第一學年
 一 法學通論 每週一時 法學士 山田喜之助
 一 契約法 全二時 法學士 土方寧
 一 私犯法 全上 法學士 奧田義人
 一 親族法 全一時 法學士 山田喜之助
 一 日本刑法 全上 法學士 岡山兼吉
 一 代理法 全上 米國法律學士 菊池武夫
 一 動產委託法 全上 法學士 元田肇
 一 組合法 全上 法學士 松野貞一郎
 一 英語學 全上
 ●英國刑法 全上 法學士 菅沼達吉
 ●論理學 全上 法學士 菅沼達吉
 ●羅馬法 全上 法學士 菅沼達吉
 ●判決例 全上 法學士 菅沼達吉
 ○理財學 全上 法學士 菅沼達吉
 ○第二學年
 一 賣買法 每週一時 法學士 高橋捨六
 一 不動產法 全上 法學士 伊藤悌治
 一 動產法 全上 法學士 山田喜之助

一 財產法 全上 法學士 增島六一郎
 一 證據法 全上 法學士 岡村輝彦
 一 證社法 全上 法學士 渡邊安積
 一 會社法 全上 法學士 植村俊平
 一 流通證書法 全上 法學士 植村俊平
 一 商船法 全上 法學士 高橋健三
 一 治罪法 全上 法學士 松野貞一郎
 一 訴訟法 全上 法學士 松野貞一郎
 一 民擬律擬判 全上 法學士 增島六一郎
 一 刑擬律擬判 全上 法學士 菊池武夫
 一 判決例 全上 法學士 土山重明
 一 英語學 全上
 ●米國法律 全上 米國法律學士 シドモル
 ●民訴訟演習 全上
 ●刑法 全上 法學士 工藤繁人
 ●民法 全上 法學士 工藤繁人
 ●法理學 全上 法學士 關直勝
 ●成法論 全上 法學士 高橋健三
 ●保險法 全上 法學士 伊藤悌治
 ●國際公法 全上 法學士 植村俊平
 ○第三學年
 一 財產法 全上 法學士 增島六一郎
 一 破產法 全上 法學士 中橋德五郎

一 訴訟 法全上 ぱりすどる 増島六一郎
 一 保險 法全上 法學士 伊藤悌治
 一 衡平 法全上 ぱりすどる 戸水寛人
 一 沿革法理學全上 法學士 増島六一郎
 一 分析法理學全上 法學士 渡邊安積
 一 羅馬法全上 法學士 渡邊安積
 一 國際公法全上 ぱりすどる 植村俊平
 一 國際私法全上 法學士 山田喜之助
 一 判決例全上 ぱりすどる 植村俊平
 一 民擬律擬判全上 法學士 菊池武夫
 一 刑擬律擬判全上 法學士 菊池武夫
 一 英語學 法全上 法科大學 吉田直太郎
 一 憲法 法全上 法科大學 植村俊平
 一 行政法 法全上 法學士 江木衷
 一 米國法律學全上 米國法律學士 シンドモール
 一 動産差押法 ぱりすどる リツチフヒールド
 一 訴訟演習全上 工藤則勝人
 ○ 第二科教課及受持講師姓名
 一 第一學年
 一 英法註釋 每週 法學士 山田喜之助

一 マークビー氏 法律論綱全上 法學士 馬場愿治
 一 アンソン氏 契約法全上 法學士 松野貞一郎
 一 スミス氏 契約法全上 同
 一 アンダーヒル氏 契約法全上 同
 一 私犯法全上 米國法律學士 菊池武夫
 一 アダソン氏 私犯法全上 同
 一 ストリー氏 代理法全上 同
 一 ストリー氏 代理法全上 同
 一 動産委託法全上 法學士 元田肇
 一 ケント氏 親族法全上 法學士 山田喜之助
 一 ボロック氏 組合法全上 法學士 松野貞一郎
 一 スミス氏 訴訟法全上 法學士 澁谷慥爾
 一 ハリス氏 英國刑法全上 同
 一 スミス氏 英國刑法全上 同
 一 テリー氏 商法全上 法學士 伊藤悌治
 一 セボン氏 法律原論全上 法學士 藤田隆三郎
 一 論理學全上 文學士 坪井九馬三

法學士高橋捨六先生著

法學士山田喜之助先生著

法學士高橋捨六先生著
英米身分法

洋製美本全一冊
定價拾九錢

十月廿五日發兌

身分法とは一に親族法とも稱し婚姻離婚を始め夫婦親子後見人及び主人奴僕等に關する法理を網羅詳論せるものなり殊に本書は高橋先生一には專修學校の教科用に供せんが爲め況く英米の法典を參照し章を分て節とし節を分て則とし專はら簡易明解を主とせられたる著述なれば恰も一部の法典を見るに異ならず故に法律に志すの人は勿論苟も親たり夫妻たり後見人たる身分ある人は熟讀し賜ふべき良書たり尙購讀者諸君の便宜を計り目錄書并に見本を調製し置たれば左店の中へ貳錢郵券寄送次第進呈す

英吉利法律學校
教科書賣捌所

錦水堂

神田區表神保町一番地角

發賣所

銀座三丁目

博聞社

法學士山田喜之助先生著

增訂英國私犯法

第三版美裝洋本
全一冊
定價七十五錢
郵稅不受

英國私犯法ハ英米法律ノ精華ニシテ民事上ニ於ケル吾人ノ權利義務ヲ詳論シ損害賠償ノ軌範ヲ示シ他ノ諸種ノ法律ニ比スルニ原則ノ類最モ多ク且重要ナルモノニシテ法律ヲ學フ者先ツ此ヨリ悟入シ以テ法律思想ノ根底ヲ培養セサルヘカラス羅馬法佛蘭西ノ如キハ私犯法ナキニ非スト雖モ之ヲ一大法類トシテ精駁シタルモノナシ此編ハ則チ其遺漏ヲ補フモノニシテ向キニ大學法學部專門學校英吉利法律學校等其無數都鄙ノ官私法學校ノ教課用書ニナリタルヲ今般增訂ノ上第三版ヲ發兌スルニ至レリ著者ニ於テ非常ノ注意ヲ以テ前版ノ誤謬ヲ正シ有益ノ材料ヲ増加セラレ活版印刷モ亦甚タ鮮明ナリ江湖ノ法曹一本ヲ購フテ座右ノ珍トナシ玉ヘ

東京京橋區三十間堀一丁目

發兌書舖

九春堂

● 校外生諸君ニ廣告ス

本月十九日官報ニ英吉利法律講義錄廢業ノ旨記載有之候故校外生諸君中或ハ現在ノ法律講義錄廢業ノコトナルヤ否ニ付御問合ニ候得共右ハ昨十八年分即チ第一期一年級ノ講義錄第四十七號ヲ以テ完結シタルニ由リ次學年分ハ更ニ出版ノ届出チ爲シ十九年九月ヨリ第二期一年級及ヒ第一期二年級共第一號ヨリ發兌シタル次第ニテ第一期二年級分ハ同一年級ノ號ヲ追フテ刊行セサルカ故ニ自然願旨消滅シタルコトニテ今學期間ニ於テ發兌スル一年級二年級講義錄等ノ廢業セル次第ニ御座ナク候間爲念廣告仕候

二十年二月

英吉利法律學校

● 校外生ニ告ク

次號ヨリ校外生諸君ノ質問ニ對スル答按ヲ掲載致可候間講義中ニ於テ疑義有之候籟ハ陸續質問規則ニ從ヒ御質問寄送アレ

法學士山田喜之助先生著

英米代理法

洋裝美本全一冊
定價 金八拾錢
郵稅貳拾四錢

代理法ハ契約法商法ノ一部分ニシテ實業社會必要ノ事柄並ニ之ヲ支配スルノ法律ヲ明ニスルモノニシテ大凡世上ノ取引店問屋仲買人銀行家運送營業者其他一切ノ商家并ニ是レ等ト取引ヲ爲ス通常人カ本人代理人第三者等ノ互相ノ權利義務ヲ知ルニ必須欠クヘカラサル者ナレハ廣ク法律家并ニ素人ノ研究ヲ要スヘキ者トス

博文堂 原田庄左衛門

明治二十年二月五日

(定價金貳拾錢)

持主 增島六一郎

印刷人 大谷木備一郎

編輯人 澁谷慥爾

發行所 神田區錦町貳丁目貳番地

英吉利法律學校